

会 報

第138号
(1999年1月)



関西ハーモニカ連盟

関西ハーモニカ連盟 会報 第138号

99年1月1日発行、98年12月15日発送

発行部数 300 毎年4, 7, 10, 1月に発行(送付はそれぞれ前月中下旬)

関西ハーモニカ連盟

理事長 仲村 眞 〒545-0005 大阪市阿倍野区三好町2-6-10
☎06 624-5606 FAXも同じ

副理事長兼事務局長

田中 祥雄 〒610-1127 京都市西京区大原野上里鳥見町14-20
☎075 331-1033 FAXも同じ

副理事長兼編集局長

吉村 則次 〒591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201
☎0722 51-9398 FAXも同じ

事業部長 飛田 保雄 〒611-0031 宇治市広野町寺山17番地の79
☎0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

指導部長 白鳥 達夫 〒577-0842 東大阪市大蓮東2-9-12
☎06 728-7951

技術部長 宇佐美 進 〒573-1155 枚方市招提南町2-7-15
☎0720 57-2077 FAXも同じ

組織部長 大石 喜一郎 〒567-0074 茨木市新郡山2-31-35
☎0726 41-2087 FAXも同じ

会計部長 後藤 貞男 〒596-0005 岸和田市春木旭町36-17
☎0724 41-0552 FAXも同じ

常任顧問 酒井涼爾、吉森正隆、平口謙二、板村忠重

特別顧問 森本恵夫、齋藤寿孝、徳永延生、和谷泰扶

常任理事 新井善久、今井康郎、入江章次、織田太郎、楠 陽児、吹上晴彦、
村上浩一、村田 潤、吉見 治、吉見 忠、渡辺 昇、和谷篤樹

会計監査 山村信彦

入会のご案内

入会費1000円、年会費(1-12月)個人5000円、賛助会員(業者)10000円

ハーモニカが好きかたなら、吹くかた吹かないかた、聞くのが好きかただけのかた、複音愛好のかた、クロマチック愛好のかた、ブルースハーブ愛好のかた、上手なかた下手なかた、上手になりたいかた、ニュースだけほしいかた、どなたでも入会できます。入会金と年会費をお近くの郵便局から次の指定振替口座に振り込みください。振込払込票の通信欄に「入会申込」と記入してください。

会員名簿(氏名、住所、電話番号)は公表いたします。

郵便振替口座 00950-6-115527 加入者名 関西ハーモニカ連盟
年度途中入会の方には、当年度のバックナンバーをお送りします。

この会報は、当連盟全会員のほか、地域単位で組織され活動しているハーモニカ各団体(連盟、協会、愛好会等)及び著名演奏家並びに関係各団体(新聞、放送各社、販売業者等)にもお送りしております。

会員は、本誌に無料で広告を掲載することができます。コンサートの宣伝、教室の受講勧誘、演奏グループのメンバー募集等にもご利用ください。

関西ハーモニカ連盟は、ハーモニカの普及
発展と会員相互の親睦を図ることを目的と
しています。

関西ハーモニカ連盟 会報 99/1月号 目次

表紙	イタリア製ハーモニカ人形	吉村 則次	
裏表紙	ハーモニカだ!	編集局	
1999年度定期総会招集通知兼理事会招集通知		理事長	3
第2回西日本ハーモニカコンテスト特集			
入賞者一覧表(再掲載)			4
審査講評	審査委員長 齋藤 壽孝		5
優勝者の言葉			
クロマチック・ソロ クラシック	池口 龍法		7
クロマチック・ソロ ジャズ・ポピュラー	吉村 則次		8
複音	岡 ヒサ子		9
デュエット/アンサンブル クライン・ワルトを代表して	吉見 治		10
ハーモニカ・カレンダー(行事の実績と今後の予定)	編集局		11
レターボックスー皆さんからのお便りー	編集局		15
写真ニュース	編集局		18
とおきの話 [11]			
絶対!!について考える	特別顧問 森本 恵夫		19
多彩だった関西ハーモニカ祭り	特別顧問 森本 恵夫		20
素敵な人、見つけた。木谷悦子(月刊おしゃれ工房より)	編集局		21
この不思議なコードハーモニカーーハーモネクターー	吉村 則次		23
トゥーツ・シールマンズおじさんとの出会い	安田 哲夫		26
これがアレンジだ!!	入江 章次		27
私のアレンジメント	大石 喜一郎		28
当連盟主催10-12月実施済みの研修会のレジュメ			
複音ハーモニカの調整と修理	入江 章次		29
クロマチックのメンテナンスと修理とリード取替	吉村 則次		30
一度やったらやめられないアンサンブル	吉村 則次		31
世界ハーモニカ大会フランス1999			
開催地ドービルはこんなところ	編集局		36
SPA H(アメリカH協会)大会に参加して	大石喜一郎		37
各団体の活躍			
東京クロマチック・H・ソサイエティ発足	編集局		8
仲村理事長と近藤氏、医家芸術クラブで芸術祭で演奏	編集局		9
大東市でクロマチックH教室開講	編集局		40
関西Hポップス第23回定期演奏会実施報告	関西Hポップス		41
堺市立金岡公民館でクロマチックH教室開講	吉村 則次		42
厚生年金会館大ホールで演奏(福祉センター教室)	水野 昭三		43
伊丹市立サンシティホールH教室開講	編集局		45
ソフィア・クロマチックの会発足	吉村 則次		45
京阪神の某市立公民館がクロマチックH教室開講	編集局		46
大阪シティアカデミー(吹田市)ハーモニカ教室	編集局		46
会員の異動のお知らせ(新入会、退会等)	組 織		44
新しいハーモニカCD等	吉村 則次		44
小林忠夫氏を偲ぶ	京都H・Q		44
アジア太平洋大会コンテスト、日本人の入賞者一覧	編集局		42
チェン・バー・ファンとラリー・アドラー中国公演	編集局		43
ピッチが変えられるMD	吉村 則次		45

同封物

- ①1999年度年会費請求書及び振込用紙
- ②総会出欠回答用紙
- ③会員票用紙
- ④連盟活動に関するアンケート用紙
- ⑤上記3件の回答用封筒
- ⑥あつぎハーモニカ99チラシ 京都H Q及び木谷悦子出演

表紙の人形 全体 ⇔



連盟会員各位

関西ハーモニカ連盟

平成11年度“定期総会”招集ご案内

関西ハーモニカ連盟
理事長 仲村 眞

担当 事務局長 田中 祥雄
TEL・FAX 075-331-1033番

次の通り、当連盟平成11年度定期総会を開催しますから、ご出席いただきますよう
ご案内申し上げます。

- 1. 日時 平成11年 1月15日(祭日) 午後3時より 定期総会
尚、総会に先立ち午前11時より理事会を開催します。
(理事の方は必ずご出席願います。粗飯を用意しております。)
- 2. 場所 大阪市西区江戸堀1-15-30 北京料理 徐園
最寄駅 地下鉄四ツ橋線 肥後橋駅下車(地図参照)TEL06-448-5263番

- 3. 議題 報告事項
平成10年度事業報告の件
平成10年度収支決算の件

決議事項
平成11年度事業計画承認の件
平成11年度予算案承認の件
連盟規約一部改訂の件
理事(一部追加)選任の件



尚、総会に欠席の方で特に異義の申し出のない人は、一切を理事長に委任したものと見なします

総会終了後、同じ場所で懇親会を開きますので併せてご出席下さい
(午後5時頃の予定)懇親会の会費 6,000円 当日徴収します。

出・欠は同封回答ハガキにて、1月5日(火)までにご回答下さい。
理事会は理事以外の会員の方も自由に傍聴は出来ます。

上記以外に総会、理事会に上程すべき議題がありましたら、事前に事務局長までお知らせ下さい。



第2回西日本ハーモニカコンテスト成績

実行委員長 仲村 眞 (関西ハーモニカ連盟理事長)

当連盟主催の上記コンテストは、ソロ、アンサンブル取り混ぜて41組(人)の参加者(内欠席5)を得て、98/9/6(日)交野市ゆうゆうセンターにて開催されました。

その結果は次のとおりでした。(98/10月号追加版でお知らせしたものの再掲です)

第1部門 クロマチック・ソロ(クラシック)

- 第1位 池口龍法 トレドールスペイン幻想曲(ジェームス・ムーディ)
- 第2位 羽藤啓夫 ト長調のメヌエット(ベートーベン)
- 第3位 木下 亮 Andante and Final from Rhapsody in Blue(ガーシュイン)
- 第4位 上田恭子 スペイン風幻想曲グラナダ(オースチン・ララ)
- 第5位 小原正照 ブルガリアン・ウエディング・ダンス(ジェームス・ムーディ)
- 奨励賞 梅田順子 ヴェニス Gondola Song(メンデルスゾーン)

第2部門 クロマチック・ソロ(ジャズ・ポピュラー)

- 第1位 吉村則次 ブルーゼット(トゥーツ・シールマンス)
- 第2位 入江章次 サンバ・デ・オルフェ(ルイス・ボンファ)
- 第3位 鴨 重信 LONELY MAN(大谷和夫)
- 第4位 高畑幸夫 ジャニー・ギター(ビクター・ヤング)
- 第5位 堤 大志郎 マイウエイ

第3部門 複音(トレモロ・オクターブ)ソロ

- 第1位 岡ヒサ子 「城ヶ島の雨」による幻想曲(梁田 貞)
- 第2位 織田太郎 楽しい人生(ハンス・ネーゲリ)
- 第3位 宮本一男 出船夜想曲(杉山長谷夫)
- 第4位 滝沢博俊 山のロザリア
- 第5位 土橋久美子 春のうた(メンデルスゾーン)
- 奨励賞 坂本充年 二つのギター(ロシア民謡)

第4部門 デュエット

- 第1位 吹上晴彦/吉見治 さらば草原よ(フランシス・カナロ)
- 第2位 谷口昌子/筒井松太郎 ブルー・タンゴ(ルロイ・アンダーソン)
- 第3位 サンセット・カラディアンズ ラ・クンパルシータ/ジブシー・ムーン
(マツス・ロドリゲス、サラサーテ)
- 第4位 宇野陽子/三嶋幸子 ロード(高橋ジョージ)

第5部門 アンサンブル

- 第1位 クライン・ヴァルトゥ・カルテット チャチャチャ時の踊り(ボンキェルリ)
- 第2位 トリオ・セッチオーラ 小犬のワルツ(ショパン)
- 第3位 エーデル・ソアーヴェー 竹田の子守唄(京都府民謡)
- 第4位 TRIO THE OK's インドの歌(コルサコフ)
- 第5位 ハーモニカフレンズ紅葉 四季の歌(荒木とよひさ)
- 奨励賞 アンドリュウ・トリオ パソドブル・グラナダ(スペイン民謡)



第2回西日本ハーモニカコンテストを聴いて

審査委員長 齋藤 壽孝

去る9月6日(日)、交野市ゆうゆうセンターの交流ホールで開かれた《第2回西日本ハーモニカコンテスト》は、2回目でもあったからか、かなり充実したコンテストでした。前回と比較しながら、ここに感想を述べさせていただきます。

まず、前回はクロマチック・ソロ(クラシック)、クロマチック・ソロ(ジャズ・ポピュラー)、複音(トレモロ、オクターブ)ソロ、アンサンブルの4部門になっていたものが、今回はアンサンブルの中でもデュエット部門を独立させて5部門になったのが特徴でした。

出場者数はクロマチック・ソロ(クラシック)部門が前回8名、今回15名と大幅に上回りましたが、反対にクラシック・ソロ(ジャズ・ポピュラー)部門は、前回14名、今回5名と大幅ダウンしました。前回出場されたかたのうち今回も出場された方は僅か1名で、前回の顔ぶれがほとんど見えなかったのは淋しい限りでした。

複音(トレモロ、オクターブ)ソロ部門は、前回13名が参加、今回は6名と低調でした。

これは、前回入賞された方が参加されなかったことにもよると思われます。その代わりにアンサンブル部門が前回の5組に対して今回は6組、さらにデュエット部門が4組参加して盛り上がりを見せてくれました。

内容的にはクロマチック・ソロ(クラシック)部門に若い人が多く、ホットな戦いがくり広げられました。前回2位の高校生池口龍法くんがJ. ムーディの「トレド」で念願の優勝を果たし、前回3位だった木下亮くんがガーシュインの「ラブソディ・イン・ブルー」を吹いて今回も3位でした。2位は初出場の羽藤啓夫さんのベートーベンの「ト調のメヌエット」でした。いずれも一長一短の出来でしたが、4位以下を大きく引き離す得点でした。こうした若い力の今後の活躍が楽しみです。

クロマチック・ソロ(ジャズ・ポピュラー部門)は徳永延生先生の門下生の参加がなく、淋しいコンテストになってしまいましたが、ベテラン吉村則次氏が前回のクラシックで、今回はジャズ・ポピュラーで優勝され、一人気を吐いておられたのが印象的でした。シールマンズの「ブルーゼット」は、いい味を出していました。

複音部門は上手な方が多い中で、香川県から参加された岡ヒサ子さんが「城ヶ島の雨」で優勝、前回に続いて四国勢が地元を制する結果になりましたが、この部門はもっと高度なテクニックを示す場になってほしいと思いました。

アンサンブル部門がボンキェルリの「時の踊り」をチャチャチャにアレンジした「クライン・ヴァルトウ・カルテット」が出色の出来で優勝しました。何か子供の喧嘩に大人が出てきたような印象を受けました。この部門はまだ人数制限がなく、もっと参加者が増えればトリオ、小グループ、大グループ、オーケストラ部門などと分化され国際基準に対応できるの、さらにいっそうの普及発展が望まれます。

デュエット部門は面白く拝聴させていただきました。このカテゴリーは国際大会でも楽器的な制約はなく、クロマチック二人でも複音とコードといった組み合わせでもよく、これから十分に研究されるべきカテゴリーです。

優勝したF・カナロの「さらば草原よ」の吹上晴彦さん、吉見治さんのデュオはオクターブ・ハーモニカを使って息の合った美しいハーモニーを聴かせてくれました。2位入賞の筒井松太郎氏と谷口昌子さんの「ブルータンゴ」も低い調子の複音ハーモニカを使って余裕のある演奏でした。



優勝者と審査員（敬称略）
 後列左から、池口龍法、審査員 徳永延生、同森本恵夫、
 同白鳥達夫、同齋藤壽孝、吉村則次、岡ヒサ子
 前列左から 小林由美子、吹上晴彦、木下加奈美、吉見治

前回には一緒に審査員席で審査に当たられた小林忠夫先生の突然のご逝去でどうなるかと思われた今回のコンテストでしたが、先生の薫陶を受けた若手奏者も確実に育ちつつあり、入江章次氏が3部門にエントリーするなどベテラン勢が相変わらずの頑張りを見せてくれました。

エリア的にも滋賀県、広島県、福岡県から新たにエントリーがあるなど広がりを見せました。

周到に準備された計画、スムーズな運営と音響効果等々これを支えたスタッフの皆さんの努力に大きな拍手を贈りたいと思います。

ERLIN/BIG SHOULDERS/D.H. BERT BILBRO/BILLY THE KID/BLUES BIRDHEAD/THE BIRMINGHAM J...
 AND/BILLY BIZOR/CLINT BLACK/SAM BLANCO/PETE BLASBERG/BLOCKING/BLOOD, SWEAT AN...
 LARS/THE BLUEBELLS/BLUE RODEO/THE BLUES BAND/THE BLUES BROTHERS/BLUES HARMONICA/BLU...
 ARP/BLUES INCORPORATED/BLUES PROJECT/SUGAR BLUE/BLUES TRAVELER/BOBBY AND TH...
 IDNITES/ROBERT BONFIGLIO/JUKE BOY BONNER/BONO/THE BORRAH MINEVITCH HARMONICA INSTIT...
 F AMERICA/WILLIE BORUM/BYRON BOUCHARD/CURLY BRADSHAW/BILLY BRANCH/LE...
 RILLE/ALFRED BRIM/JON BRIM/DON BROOKS/BUFFER BROWN/CLARENCE GATEMOUT...
 TOWN/DONALD JACOBSON/ALFRED JACOBSON/ALFRED JACOBSON/ALFRED JACOBSON/ALFRED JACOBSON...
 FORD/ALFRED BURTON/ALFRED BURTON/ALFRED BURTON/ALFRED BURTON/ALFRED BURTON...
 TLER/PAUL BUTTERFIELD/THE BYRDS/MIKE CALDWELL/CANNON'S JUG STOMPERS/TH...
 APPY BARRA HARMONICA ENSEMBLE/CAPTAIN BEEFHEART/THE CAROLINA TARHEELS/JUN...
 RTER/WILLIE BOHANNON/BOHANNON CARVER/JOHN Y CASH/STEV CASH/CEPHAS...
 IGGINS/ALFRED IGGINS/ALFRED IGGINS/ALFRED IGGINS/ALFRED IGGINS/ALFRED IGGINS...
 HATM/ALFRED HATM/ALFRED HATM/ALFRED HATM/ALFRED HATM/ALFRED HATM...
 HOWNING/CHROMATIC HARMONICA/GENE CLARK/MICHAEL CLARK/WILLIAM CLARK/CLASSIC...
 ARMONICA/LEE J. COBB/WILLIE COBBS/BOB COFFEY/JAYBIRD COLEMAN/COMMANDER CODY AND H...
 ST PLANET AIRMEN/ROBERT COOKSEY/DEWEY CORLEY/JAMES COTTON/COUNTRY-WESTER...
 ARMONICA/COUSIN EMMY/BENCOVINGTON/HENRY COWELL/BILLY COX/IRVIN CRANE/BO...
 RAWFORD/CREAM/THE CROOK BROTHERS BAND/HERMAN CROOK/MATTHEW CROOK/CROSS HARP/TH...
 UMBERLAND RIDGE RUNNERS/VERNON DALHART/ROGER DALTRY/CHUCK DARLING/JE...
 AVENPORT/LESTER DAVENPORT/CYRIL DAVIES/REVEREND GARY DAVIS/LITTLE SAMM...
 AVIS/SPENCER DAVIS/JIMMY DEAN/PAUL DELAY/PETE DELISANTE/NORMAN DELLO JOJO/AR...
 AMOND/LEO DIAMOND/DIATONIC HARMONICA/MAGIC DICK/BO DIDDLEY/DONOVAN/DAN...
 DUCETTE/SHERMAN TANK DOUCETTE/TEBES DOUGLASS/DR.FEELGOOD/FRANK DUDGEON/PH...
 UNCAN/ROY SIDNEY DUNN/OMAR KENT DYKES/BOB DYLAN/STEVE EARLE/WYATT EARP/FRAN...
 ROUNDHOGS/ADAM GUSSOW/ARLO GUTHRIE/WOODY GUTHRIE/STEVE GUYGER/BOB HADAMIK/JC...
 AGER/HARRY HALICKI/JIMMY HALL/KENNY HALL/JOHN PAUL HAMMOND/THE HARLEMONICATS/JAM...
 ARMAN/HARMONIC BANDS/ALFRED HATM/ALFRED HATM/ALFRED HATM/ALFRED HATM/ALFRED HATM...
 ARLEQUINS/THA MONA/ALFRED HATM/ALFRED HATM/ALFRED HATM/ALFRED HATM/ALFRED HATM...
 ARMONICA MADCAPS/THE HARMONICA RASCALS/THE HARMONICA SCUMPS/HARMONICA SLIM/TH...
 ARMONICA SOLIDAIRES/THE HARMONICATS/THE HARMONICUTIES/HARP/STAN HARPER/SLI...
 ARPO/DON SUGARCANE HARRIS/SHAKEY JAKE HARRIS/PROVINE HATCH/SAM DYNAMIT

ハーモニカ百科事典の表紙（縮小）

ハーモニカを楽しむ

クロマチック・ソロ（クラシック部門）優勝 池口 龍法

コンテストの日、審査が終わり、「1位」という発表を受け、拍手の中をステージへと上がって行く時、うれしかった。「おめでとう」と言われるのも、うれしかった。

しかし、それから一日たってみると、「1位」というものが、不思議なものに思えてきます。僕は6歳の時から、小林忠夫先生にハーモニカを習ってきました。その小林先生は、去る8月16日に亡くなられたのですが、振り返れば、僕がこうしてハーモニカを楽しみ、コンテストにも出るようになったとは、ひとえに先生のおかげです。

小林先生は、大変優しい方でした。僕は、はじめの6-7年ぐらいは全くといっていい程練習しない生徒でしたのに、そんなことは全く気にかけない素振りで、丁寧に教えて下さいました。自分の時間にはかまわずに、「これもやってみよう」「あの曲は最近聞いてないなあ。ちょっと聞かしてや」などとおっしゃって、レッスンが長時間にわたることも、しばしばありました。もっと長い間、先生に習いたかったですし、そうするつもりでした。早すぎる別れを、実に残念に思います。

そんなわけで、ハーモニカに関しては、苦勞した記憶はあまりなくて、ここから先、何を書こうかと迷ってしまいます。

でも、一つだけ、自分なりに悩んだことがあります。それは、自分の「才能」ということについてです。

僕は前回の第1回にも出たんですが、その時は2位でした。5位ぐらいいればいい、と思ってましたから、結果は意外でした。それ以来、もしかしたら才能があるかもしれない、といった思いが、何となく、胸の中にあつたように思います。しかし、考えたってわからない。皆無ではないんでしょうけど、それ以上のことはわからなかったんです。

でも、最近、答えが出たんです。正しいかはわかりませんが、自分では満足している答えです。それは、「才能」ということにとらわれないことです。天才は別かもしれませんが、僕のような凡人に、頭に描く通りの音楽を演奏しきる力はない、と思ったんです。それなら、「才能」などあきらめて、自分の力でなく、音楽のもつエネルギーを最大限に使ってやろう、そう考えたんです。音のもつエネルギーは、きっと大きい、と思います。

自分は、音のひとつひとつが持つエネルギーを感じ、それを生かす媒体となれば、音は自然と躍り出し、メロディーになり、音楽になる、そう信じるようになりました。

ちなみに、僕は、こうすることによって、自分の音楽に自信がもてるようになってきました。◎



クロマチック・クラシック
池口 龍法 氏

2000年にはアンサンブルで

クロマチック・ジャズ・ポピュラー部門優勝 吉村 則次

クロマチック・ジャズ・ポピュラー部門で優勝させていただいたこと、非常に光栄に感じます。このコンテストのために、この曲ブルーゼット*を丁度1年前から、回数では1000回以上練習し（それでも、まだ足りなかったと思っています）人前でもステージで5-6回演奏、本コンテスト以外でも東京、クアラルンプールでの2回のコンテストにこの曲で出場したことで、少しは向上したものと思います。



右は、優勝曲作曲者のトゥーツ・シールマン氏

まず、私のハーモニカを支えてくれた多くの皆さんに感謝したいと思います。

今回の私の優勝は、自分では「鬼の居ぬ間に」という感じがしないでもありません。

「日本のクロマチック・ジャズは関西にあり」と言われるほど、関西は徳永延生さんのお陰で、上手な人が多くおられます。私などは、その末席を少しだけ汚しているというものです。前回と異なり、それらの上手な人が今回殆ど出場されず、この部門の参加者が非常に少なかった、、、、、、ということでした。

幸いにも、前回のクラシック部門優勝に引き続き、クロマチックの両部門で優勝させていただきましたので、次回2000年には、残っているアンサンブル部門（大合奏か小アンサンブル）で優勝しようと思っています。この部門にも挑戦をしたい、また挑戦を受けたい、と思っています。

コンテストに参加することで、自分の技能は確実に向上します。またステージ度胸もつきます。これは、コンテスト経験が10回を超えている私（海外及び全国区では、97年のドイツの6位が最高で、残念ながらいまだ上位入賞なし）が、自信を持って言えることです。コンテストがなかったら、今の自分ではなかったものと思います。落ちて落ちて落ちて、私はこれからも全国区及び世界大会に挑戦したいと思っています。

注* トイレ用品ではありません。後のほうにアクセントをつけてください。

ジャズハーモニカの世界的演奏者、トゥーツ・シールマンズの作曲です。

伴奏は、徳永延生氏のレッスンCD（モリダイラ発行）のカラオケを使用しました。

メロディは、トゥーツ・シールマンズのCD「Collage」収録曲からのコピー（採譜）です。

東京クロマチック・ハーモニカ・ソサイエティ誕生

関東ハーモニカ連盟の機関誌「関東ハーモニカリーグ」4号によると、当連盟の特別顧問でもあられる齋藤壽孝氏が、クロマチックハーモニカを楽しむ会として上記のソサイエティを結成されたようです。入会歓迎。申し込み先 齋藤壽孝 03 3751-0638

情景を描きながら

複音ソロ部門 優勝 岡 ヒサ子

平成10年9月6日、大阪に於いて行われた第2回西日本ハーモニカコンテストでは、関西ハーモニカ連盟の方々は大変お世話になりました。有り難うございました。

このコンテスト出場にあたり、私はこの機会に「自分を試してみたい」と、思い切って申し込みました。

選曲については、出船、さくらのワルツ、城ヶ島の雨による幻想曲の内のどの曲を選ぶかで迷いました。

佐藤秀廊先生の編曲が、よくもまあこれ程までにと言う立派さで、演奏の難しさも、私の力でどれだけ演じられるか、どの曲も自信はありませんでした。

結局、城ヶ島の雨による幻想曲に決定しました。

この曲の練習中の苦勞は、息のつかい方であり、ため方、出し方、配分が悪くてどうしても息切れして跡切れそうになります。

8分の9拍子は、自分の意志とは裏腹に、呼吸に左右されて、カデンツァ部分の演奏もままならず、十分な演奏はとて出来ません。

分散和音からトリルは正確に、ハッキリと、慌てないで、練習に励めば大きなカベも乗り越えられる、いつか仕上げてみたいなど、思い続けた曲でした。

複音ハーモニカの優しい響きを生かして、心を込めて演奏すれば良いと、自分に言いかけながら、情景描写がどれだけ表現できるか、習得した演奏技法をフルに使用、余裕と余韻をのこす演奏が出来ればと、練習に精出しました。曲が持っている表現して欲しいものを理解し、感動した心を十分にせせば良い、聴いてる側にどれだけ伝えられるか、力不足の私にとって、途中で小さなミスに気づきながら、如何ともし難く曲は進転、終わった時、頭を下げながら、どっとばかり反省の嵐雲が胸中を埋め、後は気ぬけしてしまいました。

城ヶ島の雨による幻想曲は、1枚1枚の絵が、めくれる様に、映画を観る様に、細雨が風に切れ、一時視界がスッキリしたり、また斜めに降る細雨が煙るさま、雨に濡れた黒い岩肌、白く泡立つ波、黒緑の麗姿の松を頭に描きながらの演奏でした。

コンテストに参加出場した事は、自分以外の多くの演奏を聴く機会を得、今後私が少しでも成長する助けになる勉強が出来ました事を嬉しく思います。



複音 岡 ヒサ子 氏

仲村眞氏及び近藤隆氏が
医家芸術クラブで演奏

当連盟の理事長である仲村眞氏（内科医）及び会員である近藤隆氏（整形外科医）は、98/11/21（土）に国立文楽劇場小ホールで開催された「大阪医家芸術クラブ第22回芸術祭」に出演された。

仲村眞氏は複音ハーモニカで4曲演奏され、近藤隆氏はテノールで2曲独唱された。近藤隆氏は、同クラブの部長をされている。

西日本ハーモニカコンテストに参加して

デュエット及びアンサンブル優勝

クライン・ヴァルトゥ・カルテットを代表して 吉見 治



左から 小林由美子、吹上晴彦、木下加奈美、吉見治

去る9月6日のコンテストに参加して、思いがけなくもデュオの部門とカルテットの部門で優勝することができました。特にカルテットの練習は、いろいろな思い出があり、「第一位」と呼ばれた時は、本当に苦勞した甲斐があったと思いました。

小林忠夫先生のお名前をグループ名に、ドイツ語で Klein Wald (小さい林)としてカルテットを結成した時は、すでに先生のお身体の状態は大変悪く心配しながらの練習でした。しかし小林先生の家で練習させていただいたお陰で、少し調子の良い時は、20分程度聞いていただき、たくさんのご指導をいただきました。

私たちの前では、少しも苦しい様子も見せず常にジョークを飛ばしながら指導していただきました。

当日まで約7回ほどの練習でしたが、必ず第一位にならなければという思いが日に日に強くなり、小林由美子、木下加奈美、吹上晴彦、吉見治 4人のチームワークも最高に盛り上がったことも事実です。

一人一人が、自分のパートを責任を持って自主的に練習をしたことと、専門的な立場からご指導頂いたお陰だと思っています。

二重奏(さらば草原)のご指導は厳しく、三度五度オクターブの使い分け、それと次の音が吸う音で移行する場合の音の長さには大変苦勞しました。

残念ながら審査はしていただけませんでしたがおそらく天国で「良かった良かった」と優しい顔で言っておられると思います。

先生は、「一位になってからが大変や」と常々言っておられました。これからは、一位に恥ずかしくない演奏をしなければなりません。また後に続く人達(特に若い世代に)良い模範を示さなければいけないと思っています。

演奏と平行して音楽の知識も深め、名実ともに成長しなければと思っています。

最後に当日、裏方でお世話になった方々に心から感謝いたします。有り難うございました。

==ハーモニカカレンダー==

8/11 火 洛西ハーモニカブラザース
京都府向日市第2老人デイサービス
センターで演奏

8/23 日 エコーズ・グリーン六甲、
合同発表会 西宮市甲東ホール
ソロ23、アンサンブルは、尼崎ハーモ
ニカ・エコーズ、NHK神戸文化セン
ターハーモニカアンサンブル等12、計
35人(組)の大きな演奏会であった。
写真は、若い人もいるNHK神戸文化セ
ンター・ハーモニカ・アンサンブル



98/8/23エコーズ・グリーン六甲、合同発表会
NHK神戸文化センター・H・アンサンブル

8/26 水 和谷泰扶 NHK-FM 19:20~21:00
「ベストオブクラシック」にて100分に亙り、
5/12に東京のオペラシティにて行われたコンサートが放送され
た。曲目はシャグランのルーマニア幻想曲、ベンジャミンのハ
ーモニカ協奏曲、バッハのフルートソナタBマイナー等であっ
た(田中祥雄氏からの情報により編集局長は録音しました。)

NHK-FM 88.1

7.00 20ベストオブクラシック・和谷泰扶
ハーモニカ・リサイタル バッハ
「フルートとチェンバロのための3つの
ソナタ第1番」
ピアノ=野平一郎

9/5 土 関西テレビ 7:00am 「あなたが日本一」
鈴木楽器の神谷嘉孝氏が「日本一小さいハーモニカを吹く男」
として紹介された。4穴のミニハーモニカを、手を使わずに口の中に入れて演奏された。
すごいものでした。またそのハーモニカを使つてのトリオ演奏もあった。これは鈴木楽
器製作所の御室(ミムロ)さんからの直前の電話連絡により、ビデオにも取ることがで
きました。写真参照



98/9/5 関西テレビ「あなたが日本一」
鈴木楽器の神谷嘉孝氏の
「手を使わずにハーモニカを吹く男」



98/9/5 関西テレビ「あなたが日本一」
「手を使わずにハーモニカを吹く男」より
アナウンサーも4穴ハーモニカを吹く

- 9/5 土 吉村則次 伊丹サンシティホールにてデモ
コンサート15曲を演奏 100名を超す聴衆が集まった。
- 9/6 日 第2回西日本ハーモニカコンテスト 入賞者一覧、
優勝者の言葉、審査講評等は別記事のとおり
- 9/13(日)-15(祭) 徳永延生ハーモニカ教室
サマー・セミナー、奈良県吉野郡下北山村上池原
下北山スポーツ公園、2泊3日ハーモニカ漬け

広報伊丹 平成10年(1998年)9月1日

◆サンシティ講座 次の3
講座を(日時、定員、受講
料 対象者の順)。(クロマ
チックハーモニカ教室) 10
月3・17日と11月14日(来
年3月13日の第2・4土曜
(全11回)、午後2時。20人。
千500円。中学生以上の市民。
9月5日午後2時から説明
を兼ねたコンサートを開催

- 20数名が参加し、レッスン、合奏、バンドを付けての演奏会、地元の人を招いての徳永延生コンサート等を行いました。写真参照 (p18)
- 9/21 月 常任理事会 ハーモニカ祭り、99年度総会等が討議されました。
- 9/23 祭(水) 入江章次リサイタル「ハーモニカの楽しみ」
吹田市大阪シティアカデミー
- 9/26 土 京都ハーモニカクワルテット テラスコンサートにて演奏
六甲アイランド 六甲ライナー センター駅前
- 9/26 土 特別顧問徳永延生氏と大矢博文氏(当連盟会員、オジョイメイ・トリオ)
浜松ハーモニカフェスティバルに出演
- 9/27 日 尼崎ハーモニカ・エコーズ 公民館まつり(大庄公民館)に出演
- 9/27 日 テレビ大阪「名曲物語」で、ロバート・ボンフィリオ(アメリカ)が「モナ・リサ」を吹いていました。前号記載の8/2放映の「グリーン・グリーン・グラス・オブ・ホーム」と同じ場所で同じメンバーで録画されたものらしい。なお、使用楽器は、以前ホーナーで製作されていたCBH2016を改造したもののように見えた。レバターの位置はCBHと全く同じ、色も黒だが、カバーの形状がすこし丸型になっていた。多分チェンバー・ファンがボンフィリオのために特に 改造したものか?(写真参照)



98/8/2及び9/27 テレビ大阪「名曲物語」
ロバート・ボンフィリオ(アメリカ)が
「グリーン・グリーン・グラス・オブ・ホーム」
と「モナ・リサ」を吹いていました。

- 10/3 土 2pm 伊丹市立サンシティホール、クロマチックハーモニカ教室開講
99/3まで11回延べ22時間、30名弱(市民の人口1万人に対し1.5人)の申し込みがあり、抽選により20名に絞って開始、講師 吉村則次
受講者の平均年齢は54歳と比較的高かった。(堺市の場合は44歳であった。)
- 10/10 祭 会員の堺市の榑崎義男氏指導のハーモニカサークル(堺市内5カ所)の親睦交流会 堺市泉ヶ丘 延寿荘 サークル会員30余名が出席。演奏と懇親があった。写真参照。吉村編集局長も同じ堺市に住んでいるよしみで出席。



98/10/10 堺市の榑崎義男氏指導の
ハーモニカサークル(堺市内5カ所)の親睦交流会
堺市泉ヶ丘 延寿荘



10/10 祭 徳永延生、千里ジャズフェスティバルに出演、よみうり文化ホール

10/11 日 木谷悦子 高槻ジャスコにて演奏

10/16 金 木谷悦子 堺市役所21階VIEW21コンサート、市（文化振興部）がこのようなハーモニカコンサートを開催してくれること、非常にうれしいことであった。

10/17 土 3-5pm 研修会 「複音ハーモニカの調整と修理」
講師 入江章次氏 福田診療所 友遊館 8名が参加 レジュメは別記のとおり。

10/18 日 京田辺市ハーモニカ同好会、京田辺市音楽連盟の音楽祭に出演

10/18 日 京都ハーモニカクワルテット 三重県軽自動車協会販売促進イベントで演奏 四日市市オーストラリア記念館ほか

10/18 日 芦屋市 大蓄芦屋店 大石昌美 心のハーモニカコンサート

10/18 日 筒井松太郎 能登川ふれあいフェアにて演奏

10/24 土 第13回たのしいハーモニカ発表会（尼崎市立大庄公民館）
尼崎ハーモニカ・エコーズ主催、30組（人）以上が演奏した。

10/24 土 田中副理事長、吉村副理事長がFMハナコ（875=守口のローカルFMラジオ）に35分間出演、ハーモニカの宣伝及び翌日のハーモニカ祭りの宣伝を行った。

10/25 日 当連盟ハーモニカ祭り 守口市 エナジーホール
アンサンブル25組、ソロ38人（うち欠場3）、ゲスト1、全員合奏1 合計65組（人）、延べ345人が出場した。

10/25 日 日本ハーモニカ芸術協会（佐秀会）演奏会 東京ヤマハホール
当連盟特別顧問、和谷泰扶氏がゲスト出演

10/31 土 京都ハーモニカクワルテット 神戸ハーバーランドにて演奏

11/1 日 Kiss FM トゥーツ・シールマンズ特集 「オズミック・ノーツ」
DJ小曾根真 大阪に滞在中のシールマンズとの電話インタビューを含め30分にわたりシールマンズの特集放送があった。

11/2~4 トゥーツ・シールマンズ・ライブ 梅田ブルーノート お元気そうでした。クロマチック愛好者及びシールマンズのファンが多数来ていました。

広報さかひ

1998年(平成10年)10月1日

今月のVIEW21コンサート

今月は「クロマチックハーモニカで奏でるジャズ・ポピュラーの世界」と題し、木谷悦子さんが演奏します。

曲目は「イバナマの娘」「黒いオルフェ」など。

10月16日(金)、午後0時10~40分、市役所高層館21階展覧ロビーで。入場無



98/9/13-15徳永延生ハーモニカ教室サマーセミナー
奈良県吉野郡下北山村上池原 下北山スポーツ公園
明るい障子の前で公開演奏会
左から辻晋哉、徳永延生、木谷悦子、恒川富夫

Kiss FM 神戸89.9 青島87.1

9.00 オズミック・ノーツ
DJ・小曾根真
ワゲストセッション
「トゥーツ・シール
マンズ特集」ワレジ
ェンスオブジャズ
【受付FAX番号】
078(393)1000

- 11/3 祭 京田辺市ハーモニカ同好会、京田辺市文化祭に出演
 11/7 土 関西ハーモニカポップス定期演奏会 淀屋橋朝日生命ホール
 11/9 月 規約改定検討委員会
 11/21 土 2pm~5pm 研修会「クロマチックハーモニカの修理と調整」
 講師 吉村則次氏 福田診療所 友遊館 レジュメは別記のとおり
 11/22 日 3pm 内山進 ハーモニカによるバッハ+イタリア クレオ大阪東音楽室
 11/23 祭 徳永ハーモニカ教室発表会及び徳永延生ライブ
 心斎橋 国際楽器社ホール
 11/25 水 6:30pm 徳永延生 ゲスト出演
 北野タダオ&アロー・ジャズ・オーケストラ 第23回定期演奏会
 大阪イシハラホール 文化庁・日本文化振興会助成
 11/30 月 規約改定検討委員会
 12/3 木 3pm 木谷悦子 堺市民会館にて演奏
 12/4 金 18:30 木谷悦子 ライブ&トーク「舞い上がれ わたしの夢」
 ペア4600円 一人2500円 ワイン・軽食付
 ドーンセンター(大阪府立女性総合センター) 予約 06 910-8615 センター
 12/5 土 2pm~5pm 研修会「ハーモニカのリードの微調整と取り替え」
 講師 吉村則次氏 福田診療所 友遊館 レジュメは別記のとおり
 12/13 日 京都ハーモニカクワルテット 美濃市音楽フェスティバルで演奏
 岐阜県美濃市 美濃市文化会館 問 0575 35-0522 入場料300円

これからの予定

- 12/25 金 13:30 第25回みんなのハーモニカコンサート 主催 関西Hポップス友の会
 大阪府立文化情報センター 22名(組)が出演される予定。問、大石 0726 41-2087

99/1/15 祭(金) 定期総会、p3の招集
 通知ご覧ください

99/1/17 日 13:30 あつぎハーモニカコンサート'99(神奈川県厚木文化会館)

同封チラシをご覧ください。我々の仲間が関東で活躍されるのを見るのは非常にうれしいことです。当連盟会員の京都ハーモニカQと木谷悦子(ピアノ多田恵美子)が出演 他の出演者はタロー、八木のぶお、厚木の若手プレーヤー等

99/10/7~10 世界ハーモニカ大会 フランス
 ドービル 別記事参照

問 吉村則次 電話及びFAX 0722 51-9398

99/10/24 日 当連盟ハーモニカ祭り 大津市 大津文化会館 決定
 カレンダーにマークしてっ!

99/11/20 土 浜松ハーモニカコンサート

9 広報あつぎ No.810

謹
賀
新
年

今年もハーモニカの普及発展に
 努力します
 関西ハーモニカ連盟 役員一同



京都ハーモニカクワル
 テット、八木のぶおほか。

リスを競演します。

出演。ハーモニカのまち厚木に
 若手トッププレーヤーとベテラ
 ンが集い、さまざまなハーモニ
 カでクラシック、ジャズ、ブル
 ースを競演します。

「たけしの元気が出るTV」
 でも話題になった天才少年・千
 賀タローや、昨年の世界大会で
 優勝した木谷悦子、水野隆元、
 同準優勝の厚木の柳川優子らが

あつぎハーモニカコンサート'99





レターボックス

---皆さんからのお便り---



98-8-28

小林忠夫様を悼む

小林忠夫様の亡くなられましたこと、大変驚くと共に、悲しみに包まれています。
私とは、大変心が通い合うものがありました。

(追悼文は、10月号追加版に掲載済み---編集局)

池田 輝樹 (埼玉県草加市)

四国でハーモニカレッスンをしています

790-0012 愛媛県松山市湊町7-6-2 高岡貞子方、tel. 089-921-4293

月1回、入会金5,000、月謝5,000

池田 輝樹 (埼玉県草加市)

(tel 0489 35-2282 埼玉県草加市八幡町524-5 香川大学学芸学部音楽科出身)

98-9-11

ハーモニカ教室教えてください

尼崎の演奏会(編集局注、98/6/20佐秀会コンサート)に行った人から、ハーモニカのコンサートが非常に良かったと聞きました。私も習いたいので、教室を教えてください。

堺市 K女様

(教室の案内をFAXで送りました。---編集局)

こういう場合に4月発行の「当連盟教室一覧」は非常に役立っています。ただし、小林忠夫氏逝去による変更、又はその他のかたによる新規開設あるいは廃止の教室もあり、短期間ではありますが、そうとう変更が出ているので、変更分だけを指導者から提出させるか、あらたに調査しなおす必要があるかと思われます。---編集局)

98-9-23

ジェリー・ムラッドのトリオ譜、手に入りませんか

前号p30の「編曲の適正価格は？」の記事に興味を持ちました。ジェリー・ムラッドとハーモニカットのトリオ譜1曲15ドル(2250円)と出ていましたが、5曲ぐらい購入したいと思います。曲名のリストはありますか。また取り寄せていただけますでしょうか。

匿名様

同氏のご希望により、ジェリー・ムラッドさんのご遺族より、10曲取り寄せました。5曲以上同時に申し込みをすると、1曲10ドルになるとのことでした。

吉村 則次

ザイドール社が判明

前号及び前々号で話題にしましたS・E・Y・D・E・Lというハーモニカメーカーのことが分かりました。国内の某ハーモニカ・メーカーさんがカタログのコピーを送ってくれました。

複音、ブルースハーブ各種、クロマチックは12穴2種を作っているようです。

住所は、C. A. Seydel Sohne GmbH, Robert-Koch-Strasse 1-2, D-08248 Klingenthal GERMANY (ドイツのクリンゲンタール)、創業は1847年、150年前ということです。

クロマチックの普及型(デラックスではない方)は、私も1個持っているが、バルブがなく、非常にユニークな24穴のスライドを持っている。なお、第12穴をスライドを押して吸うとCが出る。他のメーカーのものは第12穴に限り上のDが出るようになっているが、

吉村 則次

岐阜でクロード・ガーデンコンサート

中部ハーモニカ連盟からの連絡によると、クロード・ガーデンコンサートが岐阜ハーモニカコミッテイ主催により、98/11/8(日)岐阜市クララザールで行われるとのこと。

入場料3000円

編集局

同じく中部ハーモニカ連盟の9/1現在の会員名簿によると会員数は次のとおり。

正会員57、グループ会員100、特別役員6、理事22、幹事16、総員163、加盟グループ10

編集局

ハーモニカ価格改定のお知らせ

というお知らせがトシボ楽器から送られてきました。

「諸材料/人件費等、製造原価は年々上がり、企業努力だけでは現在の価格を維持することが不可能になりました」とのこと。

高いもので2000円、安いもので500円、値上げされているようです。実施は98/11/1から。新価格表添付ありました。

編集局

ハーモニカ・コレクター・インターナショナルの会員証

私が入会しているアメリカの掲題協会から、会員証が送られてきました。現物はA4判に近い大きさで、日本で言う賞状の形式をしています。当連盟も採用を考えてみたら？部屋に飾れます。

吉村 則次

ハーモニカの百科事典発売

ハーモニカの百科事典が発行された。ピーター・クランパート著 18.96ドル、英語。
 すぐ購入しました。多くのプレーヤー、作曲家、メーカー及びハーモニカ用語が取り上げられているが、取り上げられている日本人は残念ながら、ただ一人、ナカムラ・テツヤという人で、「リー・オスカーがWar (ロック・グループ)を離れたあと、1993年からそのグループでハーモニカを吹いている」とある。
 佐藤秀郎とか岩崎重昭とか森本恵夫とか和谷泰扶とか崎元譲とかも向こうでは無名ということか。カバーの写真 p6 参照

吉村 則次 (この百科事典は4000円ぐらいで取り寄せできます。)

98-10-22

イタリアの空間を描く

=内山 進 個展=

98/11/17-22 クレオ大阪東

ハーモニカによるバッハ+イタリア

98/11/22 (日) 3pm-5pm 同音楽室

無伴奏バイオリンパルティータ第1番、シチリア民謡からオペラまで

このバッハの大曲には苦心惨憺しておりますが(まるでヒマラヤに登る思い)何とか頂上が見えてきたところです。はて、どうなることやら。

内山 進

(注、編集局長は、聴きに、また見に行きました。感想は次号に掲載します。

当連盟の会員に、このように他の分野でも活躍されてられるかたがおられるということは、非常にうれしいことでした。) ↓ 同氏からの案内はがきの絵


イタリアの空間を描く
 =内山進 個展=
 1998.11.17(水)~11.22(日)
クレオ大阪東キナロ

ハーモニカによるバッハ
 + イタリア
 HARMONICA SOLO 内山進
 1998.11.22(日)3:00-5:00
クレオ大阪東 音楽室
 無伴奏バイオリンパルティータ第1番 他
 シチリア民謡からオペラまでまで
(入場料 無料)

通読。皆様へ。
 この大曲には苦心惨憺
 しておりますが、(まるでヒマラヤに
 登る思い)何とか頂上を見えて
 きたところです。はて、どう
 なることやら。

〒536 大阪市城東区鶴野西1-10-1
 TEL/FAX 06-967-5635

内山進



今回の展示は、
 スチリアの風景
 ではありません



98/9/13-15徳永延生ハーモニカ教室サマーセミナー
奈良県吉野郡下北山村上池原 下北山スポーツ公園



トゥーツ・シールマンスと安田哲夫
福岡ブルーノートにて(p.26参照)



98/9/5伊丹市立サンシティホールで演奏
吉村 則次 (p.11 参照)



絶対!!について考える

関西ハーモニカ連盟 特別顧問 森本 恵夫

“世の中に「絶対」ということは「絶対」にない。だから「絶対」という言葉は「絶対」に使ってはならない。”

おやおや、この文章ちょっとおかしいですね。

いや、それはさておき、我々が「絶対」だと思った事でも、角度を変えて見ると、それが「絶対」でない場合がしばしばあります。

例えば、 $1 + 1 = 2$

この数式は、左辺から見た場合には確かに正しい。しかし左辺と右辺を入れ替えて
 $2 = 1 + 1$

としてみると、これは正しくはない。何故ならば、2になる数は $1 + 1$ だけではなく、 $3 - 1$ でも、 $4 \div 2$ でもよく、無数に存在するからです。

これは俗に言う「逆、必ずしも真ならず」という論理です。

また、ある時代に絶対に真であると思われたことでも、時代の流れと共にそれが真でなくなるような場合がしばしばあります。

昔人類は、空を見上げて、月や星や太陽の位置が変わるのは天が動いているからで、地球が動いているなどは夢にも思っていなかった時代がありました。

しかし、ガリレオが地動説をとなえてから、天動説は影をひそめ、今では子供でも地球が動くことは知っています。ところがその説とて絶対ではなく、星の中にも動かない星と動く星があることがわかりました（恒星と惑星）。

ところで現代では動かないとされていた恒星も動いているといわれ、科学の世界でさえ絶対だと思われていたことが二転三転致します。アインシュタインの相対性理論でさえ、くつがえらないとは限りません。我々は軽々しく正、不正を論じてはいけないという教訓です。

~~~~~ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ~~~~~

序論が長くなりました。本論に入りましょう。

或る人の演奏を「間違っていますよ」とアドバイスしたことがありました。

その人は「私は〇〇先生の編曲通りに吹いているので間違っていない」と口をとがらせました。

私が後日その〇〇先生に会ったとき、編曲の間違いを指摘したところ、「私は原曲を忠実に編曲していますから間違っていない」とまた口をとがらせました。

そこでその原曲なるものを見せてもらったところ、連弾ピアノ曲をフルート用に編曲した楽譜で、それを元にハーモニカ用に編曲したということがわかりました。つまりその利用したフルート用の楽譜が間違っていたのです。

間違った材料から間違った結果が出てくるのは当然で、それをエラそうに間違いだと指摘した私の方が間違いでした。

~~~~~

世間には、ややもすると自分の考えのみ主張して「俺の言っていることは絶対に正しい」というようなものの言い方をする人が多いようです。

ところがどっこい、角度を変えてみると、正反対の表現が成り立つ場合がしばしばあります。満月の月でさえ、反対側から見ると、暗黒の世界がひろがっています。それを知らないで自分の主張ばかりエラそうに言っていると、引っ込みがつかなくなります。

そんな人いやですね。

そんな人になりたくないですね。

ですから、私達は心して、絶対という言葉は絶対に使わないようにしましょう。

あっけない。また言ってしまった。私としたことが・・・・。

ハイおそまつ様。

多彩だった関西ハーモニカ祭り

関西ハーモニカ連盟 特別顧問 森本 恵夫

平成10年10月25日（日）

守口文化センター・エナジーホールで、創立20周年を記念した関西ハーモニカ祭りが華々しく開催されました。

秋晴れに恵まれ、真新しいホールで音響効果も万点ということであれば、出演者の皆さん、いやが上にも胸が高鳴って来るのは当然でしょう。

プログラムを見ると、何と65組の出演。

さすが関西伝統のコンサートだけあって、出演者の顔ぶれも多彩、その上内容が変化に富んでいて開く前から胸がワクワク。

正午の開演で、次から次へと繰り上げられる演奏は、予想を越えてレベルが高い。

サークルの演奏は、多人数を短時間に教えなければならないので、どうしても指導効果が薄く、まとまった演奏は期待しにくいのですが、どの団体もそれぞれ個性ある合奏を発表されたことは、関西地区の指導者の指導力の高さを示すものとして、全国的な指針ともなるでしょう。

合奏の合間に挿入されるソロも、それぞれレベルが高く、高度のテクニックを示してくれた奏者もいて、その研究心の旺盛さにおどろかされました。

ショパンの華麗なる大円舞曲を複音ソロで吹いた六島昭治氏のチャレンジ精神に敬意。

関西コンクール、クロマチック1位の吉村則次氏の「もののけ姫」のソロは美しかったし、故小林忠夫氏の長女小林由美子さんがクロマチックを担当するクライン・ヴァルト・クワルテットのユニークなアンサンブルは将来が期待されます。

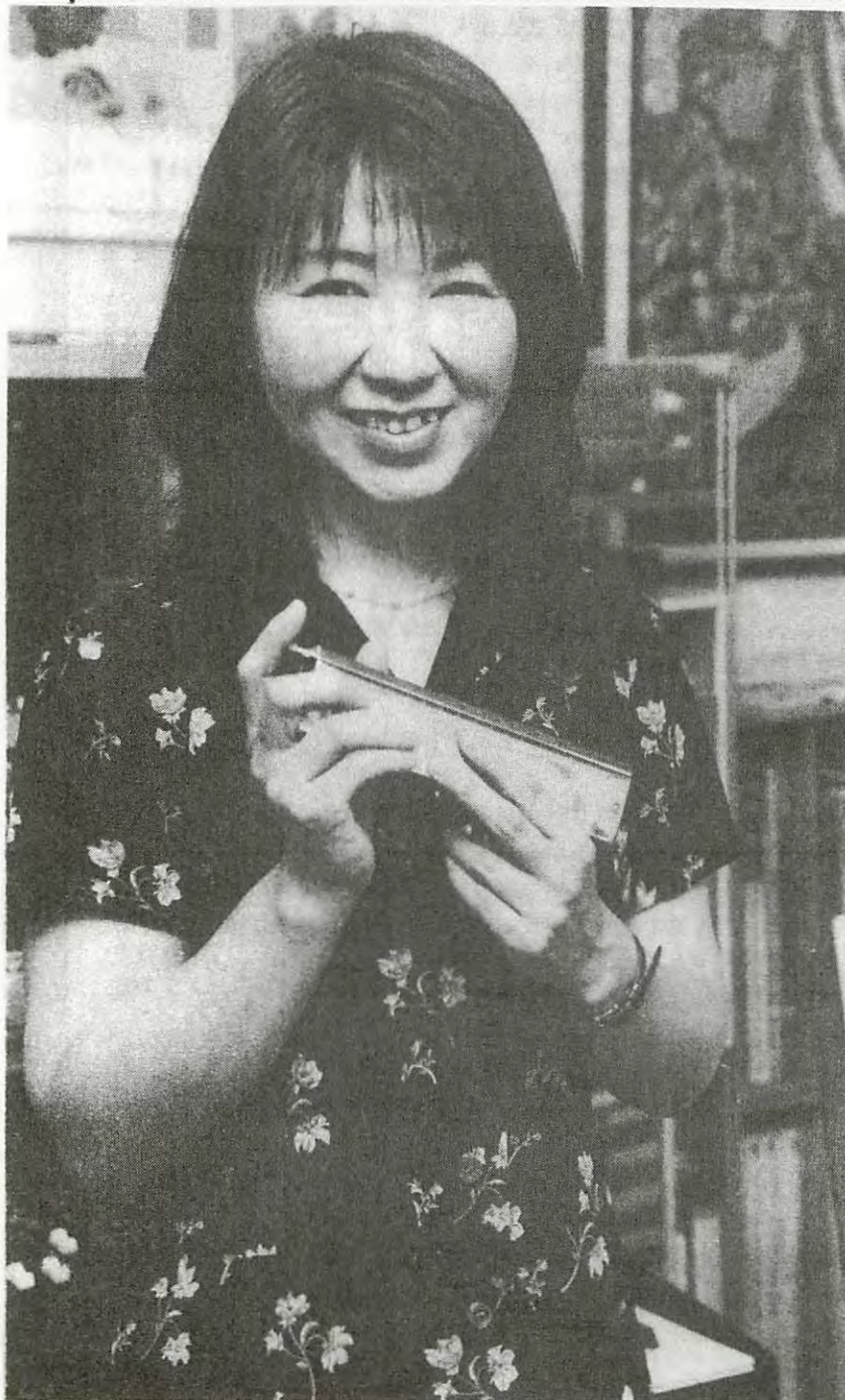
特筆すべきはNHK・ソフィア・ツルミ・ハーモニカ・ビッグバンドで、吉村則次、木谷悦子、徳永延生三氏が指導するクロマチック教室の生徒総勢50名（？）によるクロマチック大合奏である。これは世界的にも例を見ない試みで、高齢化が心配されるハーモニカ界に新風を吹き込むことになりそうです。

その他一々取り上げられませんでした。勝れた演奏が多々あり、今更ながら関西ハモ連のパワー目の当たりにした楽しいコンサートでした。

私もゲスト出演で、赤とんぼの幻想、ユーモレスク、トルコ・マーチで、アンコールに「有楽町で逢いましょう」を吹き、有意義な一日を過ごさせていただきました。

関西ハモ連の益々のご発展を期待する次第です。

連載インタビュー⑩ 素敵な人、見つけた



とても不思議な楽器です。
まったく同じハーモニカで演奏しても、
優しい音、たくましい音、色っぽい音、
一人一人、音色が違うんです。

木谷悦子さん

●
クロマチック・ハーモニカ奏者

きたに・えつこ

1985年より高槻市役所に勤務。
'93年クロマチック・ハーモニカに出会う。'97年世界大会で優勝。木谷さんの活躍をきっかけに、それまで男性ばかりだったハーモニカ教室に女性が増えた。

教室については132ページ参照。



世界大会で優勝したときの賞状とメダル、記念の金のハーモニカ。曲はジャズで、チック・コリアの「スペイン」。ダイナミックでたくましい音色と評された。



コンサートの演奏風景。バンドと一緒に演奏する木谷さん。「初めて人前で演奏したときは、目を開けたら緊張してしまうと思って、ずっと目をつむったままで吹きました」。

日曜日の昼下がり。大阪・御堂筋にある楽器店の前で、木谷悦子さんは何気なく足を止めた。1993年12月、31歳のときである。

当時、悦子さんは高槻市役所に勤務して8年目。仕事以外に打ち込める何かか欲しい。模索中だった。

そのとき目に留まったのが、ショーケースに飾られていたクロマチック・ハーモニカ。普通のハーモニカと違い、横にレバーがついている。

「どうやって音を鳴らすのやろ」

覗き込んでいると、店員に声をかけられた。

「ちょうど今、上の階でクロマチック・ハーモニカの教室が開かれていますよ。覗いていかれては？」

「日本では数少ないクロマチック・ハーモニカの奏者、徳永延生さんの教室でした。そこで初めて聴いたクロマチック・ハーモニカの音色に一目惚れしちゃったんです。なんて繊細で綺麗な音だろう。ハーモニカでこんな曲まで演奏できるなんて…。これだ！その場ですぐに教室に入会しました」

普通のハーモニカには半音がないが、クロマチック・ハーモニカは、レバーを操作することで半音も奏でられる。演奏する曲のジャンルも、クラシック、ポピュラー、ジャズなど幅広い。

「ところが初めの半年間は大変。音は出ないし、息が苦しくてめまいがしてくる。息を吸って音を出す楽器って、ハーモニカだけなんですよね。肺活量の少ない女性には向かないのかしらと、半年もたつこ

ろには辞めることばかり考えて」

それでも辞めなかったのは、教室の他の生徒たちの真面目な姿勢に心を打たれたからだ。

「とにかく毎日、練習してみようと。すると、半年過ぎたころから突然、音が出るようになったんです」

唇の形の作り方、ハーモニカを口に当てる角度、微妙なコツがわかってきた。効率よく息を使えば苦しくなることもない。どんどん面白くなっていった。

1年後、クロマチック・ハーモニカの日本大会が開かれた。木谷さんは、デューク・エリントンの「キャラバン」という、スタンダード・ジャズの名曲で出場し、見事1位を獲得。同年10月、横浜市で開かれた世界大会でも、各国代表のアマチュアやプロと闘い、3位入賞。そして、昨年11月、ドイツで開かれた大会でついに世界第1位を獲得した。

今年3月、木谷さんは13年間勤めた市役所を退職した。クロマチック・ハーモニカのプロ奏者として出発することにしたのである。現在、カルチャーセンターで教える傍ら、ライブハウスや小学校、老人ホームなどに招かれてのコンサートと忙しい。

「特別養護老人ホームで演奏したときのことで。痴呆が進み、口もきかなくなっていたお年寄りが、私のハーモニカに合わせて歌い出したことがありました。『赤とんぼ』『ふるさと』。心の引き出しのどこかにあった遠い記憶が蘇ったのかもしれない。時折、涙をこぼして聴いてくれる人もいます」

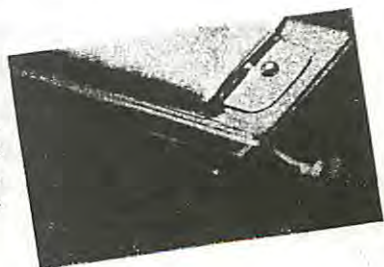
「ハーモニカは昔、誰でも一度は手にしたことがある懐かしい楽器。だからこそ、年齢も環境も関係なく、幅広く人の心に訴えかけることができるのかも知れません。私がこの仕事が好きなのは、たくさんの人との出会いがあるからなんです」。

出会った瞬間に一目惚れ。
以来、クロマチック・ハーモニカは
人生になくはならないものになりました。

クロマチック・ハーモニカの楽譜。楽譜についている数字は、ハーモニカの穴の位置を示している。慣れてくればもう数字を書く必要はなくなる。



右端にあるレバーを押すと、音が半音上がる。大会前は毎日5時間練習したという。練習しすぎて唇の端が切れたこともあった。



ハーモネッタは、ハーモニカか この便利なコード楽器

吉村 則次

タイプライターのような計算機のような

10/25の我が連盟のハーモニカ祭りのコンサートで、私は「NHK・ソフィア・ツルミ・ハーモニカ・ビッグバンド」の一員として、ハーモネッタで伴奏をしました。日本ではあまり人前では見られない珍しい楽器なので、ビッグバンドの演奏と共に、このハーモネッタにも多くの聴衆の興味を引いたようです。

ドイツのホーナーで製造されていましたが、もう製造中止になってから久しいもので、関西でも持っている人は2~3人でしょうか。目に触れることはほとんどなくなっています。今、手に入れようとすれば、誰かが手放すのを待って、オーバーホールしたものを購入するしか道はありません。国内ではもともと普及したものではありませんでしたので、ほとんどその望みはなく、アメリカのそういう修理業者に頼んでおいて、手に入ったときに購入するのが唯一の手でしょう。あの長あーいコードより、はるかに易しく演奏できて、よりいい音が出ると思っており、愛用しております。

指1本でコードが出せる

全体図は図1、分解図は図2のとおりで、キーボードの配列は図3のようになっております。リードが図4のとおり半音階(クロマチック)で3オクターブ分あり、それらは、ただ吹いたり吸ったりするだけでは鳴りませんが、該当のボタンを指で押すことにより金属のバルブが開いて音が出ます。吹き吸いいずれでも同じ音が出るので息は楽です。

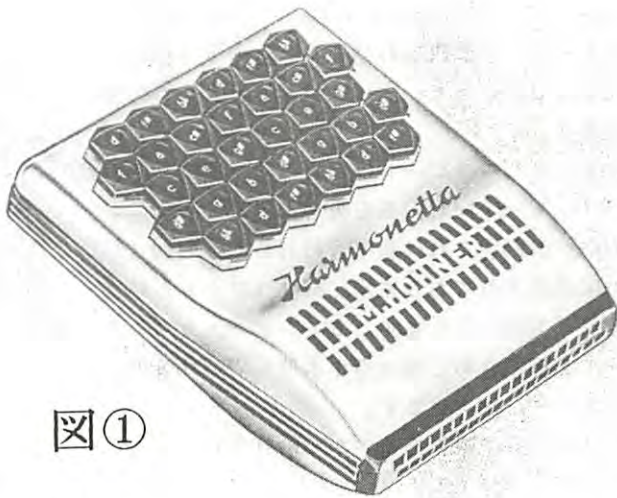
そのキーボードの配列が、コードを出しやすいように、実によく考えてあると思われる。ハーモニカでは再生産は無理としても、このキー配列の電子楽器をどこかの会社で作ってくれたらいいのに、と思います。

即ち、ア方向は完全5度差(パーフェクト5th、以下P5th、ドから見ても)で並べられております。イ方向は短3度(マイナー3rd、以下m3rd、長調のスケールのドに対しミ・フラット)です。ウ方向は、長3度(メジャー3rd、以下M3rd、ドから見ても)で並んでいます。

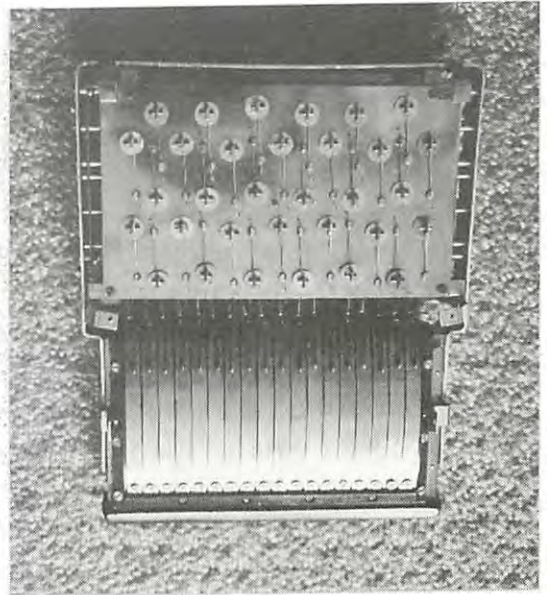
Cのキーを中心に見てみましょう。ウ方向にM3rdのEが、ア方向には、P5thのGがあります。ですから、CとEとGの真ん中の接点を指1本で押すとC-E-GのCメジャーコードが出るわけです。目をつぶっていても分かるように3つのボタンの接点は凹んでいます。

メジャーコードというのは、すべて基準音(ルート)に対してM3rd、P5thの関係ですから、どんなコードでも同じ感じ(指の押さえ方)で鳴らせることができます。Bbメジャーコードなら、Bb-D-Fですから、その3つのキーの真ん中を指1本で押せばいいのです。これも凹んでいます。また、キーは、いいことに左と右にダブってついていますから、どちらの指を使ってもいい訳です。

次にマイナーコードを見てみましょう。マイナーコードは、ある基準の音にm3rdとP5th

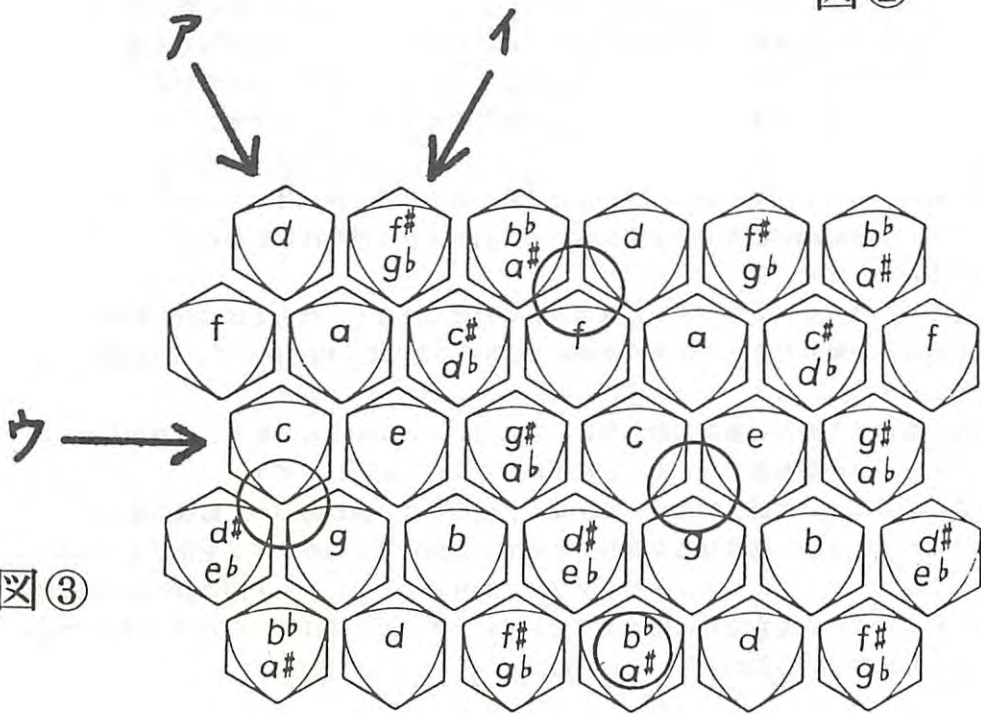


図①



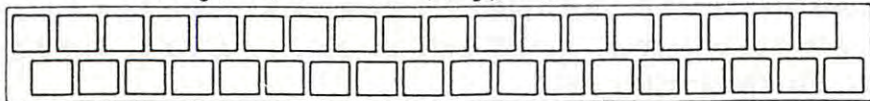
図②

Harmonetta



図③

c d e f# g# a# c' d' e' f#' g#' a#' c'' d'' e'' f#' g#' a#' c''



c# d# f g a b c# d# f' g' a' b' c# d# f'' g'' a'' b''

図④

を積み上げればいい訳です。Cのキーのイ方向にm3rdのEbがあります。ア方向にはP5thのGがあります。これの真ん中を押せばマイナーコードが出るわけです。この3つのキーの接点はメジャーとは逆に出っぱってあります。したがって、出っぱっているところを押せばどこでもマイナーコードが出るという訳です。

それではよく使われるドミナント（5度上）・セブンスコードは、どうやって鳴らすのでしょうか。長いコードハーモニカでは、Cメジャーと同じ穴をを吸って出るのがCのドミナント（P5th）セブンスコードであるG7(G-B-D-F)、これは基準音に対して、M3rd（ソに対してはシ）、P5th（レ）、m7th（ファ）で構成されております。m7th（ファ）というのはP5thに対してはm3rdですから、Dからみてイ方向にあります。ドミナント・セブンスコードを鳴らすには、指1本でメジャーコードを押し、あと別の指1本使ってm7thを押せばいいわけで、指2本でドミナント・セブンスコードが出せます。

Cメジャー7thコードは、C-E-G-Bです。BもEとGの隣にあるのがお解りでしょう。これは長いコードハーモニカではどうしても出ないコードです。

C6thコードはC-E-G-Aです。AはCとEのすぐ隣にあります。これも指2本で出せる訳です。これも長いコードでは出ません。

さらに長いコードハーモニカにはないメリットは、ハーモネットでは、コードの転回形が出せることです。口のくわえる位置により、CセブンコードならC-E-G-Bbのみではなく、E-G-Bb-CもG-Bb-C-EもBb-C-E-Gも出せることになります。また舌で特定の穴を塞ぐことにより、特定の音を出さないということもできます（これは非常にむずかしいことですが）。

コードの音の高さも3オクターブのどの位置でも出るということです。

最後にオーメンテッド・コードとディミニッシュ・コードですが、オーメンテッド・コードは、M3rdの積み上げですからウ方向に指を寝かせて3音を押せばよく、同じくディミニッシュ・コードはm3rdの積み上げですから、イ方向に4音を押せばいいわけです。これだけは指4本がいります。

上記ルールは、すべてのコードに適用されるわけではなく、たとえばG7(G-B-D-F)を出す場合にはFが離れたところにありますので、G-B-Dを人差し指で押して、Fは薬指か小指で押します。

一番手前の第1列と一番奥の第5列は、全く同じボタンが並んでおり、これがなかったらハーモネットの演奏はもっともっとむずかしくなっていたはずで。

指の使い方については、特にルールはなく、使用される曲に基づいて臨機応変に使い分けることができます。私自身は左利きですので、左指に多くのウエイトをかけています。

また上に述べたようにボタンが左右ダブっておりますので、コード間の音のときれがないように、なるべく左右交互に出すようにしています。たとえばC、G7、Cとあった場合には、Cは左手、G7は右手というように。

望まれる再生産

なぜ、このように便利な、いい楽器が製造中止になったのでしょうか。残念でなりません。値段が高かったこと、修理が困難なこと等が理由かもしれません。しかし、いまでもアメリカやヨーロッパでは、この楽器を使っているバンドがあります。再び製造をするということは困難なのでしょうか。

Toots Thielemans (T. T.) おじさんとの出会い

安田 哲夫 (福岡市)

TTと言えば“真夜中のカウボーイ”を世の中に知らしめたハーモニカプレーヤーとしか知らない私が、ここ福岡のブルーノートで親しく話ができたとは夢心地。関西連盟の日ごろ尊敬する吉村さんからのお電話で、出会いの印象を書いたらというお誘いで、調子に乗って書いてしまいました。以下3ステージのTTとの印象記。

10月20日(火) 第1ステージ 19時より

家内と同伴で、ステージ一番右端、花道側、最前列テーブルに陣取り、開演を待った。

ホールには、九州H連盟の森会長も後藤さんと一緒に出席。

こういう場合は、私は必ずメッセージボードを用意することになっている。

MR. T. T.
WELCOME TO FUKUOKA

開演と同時に彼が登場した。“Hi! T.T.”と言ってボードを出した。

なんと、あの大きな手で私を触って顔をなでてくれた。会場の皆も驚いた様子であった。

酒バラ、ブルーゼットetc. 1時間15分、お得意のギターまで、すばらしいソフトな演奏、夢心地のプレイに感嘆した。おそらく船を漕ぐであろうと言っていた家内も感激のご様子。

TTのプレイでは、一挙手一投足(?)まで逃してはならじと目を据えた焼き付けました。

舞台から下りると同時に用意していたカラー写真(もちろんTTの)A4判を見せた。

彼は驚き、私を抱きしめた。そして会場の皆にその写真を高く掲げ知らしめた。

無論サインの数々が自分の宝物になりました。

10月22日(木) 第1ステージ 19時より

友人である福岡タンゴ六重奏団主宰の安倍さんと同伴。なんと開演前に控室に呼ばれて、しばしの歓談。安倍さんも意気投合。ABE、ABEと呼ばれ大人気。

どうも日本人の感覚から見て少しお酒が入りすぎか、ミネラル・ウォーターをがぶ飲み、糖尿病かなと思ったが、頭の中に病名の英語が出てこなかった。写真も撮り放題。TTのMGRがカメラマン。相当機嫌がよかったようだ。

TTの奥さんの話をしたらびっくり。事前に大阪の吉村さんから情報を仕入れていたため大助かり、感謝。

控室ではアルコール酩酊のご様子。がしかし舞台はしっかり、バックのトリオとの完全調和、お酒は微塵も感じなかった。“真夜中のカウボーイ”に大感激。

10月24日(土) ラストステージ 21時より

最後のステージであり20分の延長あり、楽しく自分も酔った。TTおじさんともいえる気楽で偉大な人と会話ができて、人生の中にまた楽しい思い出ができた。私のCDファイルに6冊増えた偉大なるTTの音色。またさらに遠くになったメロウトーン。

参考までに、TTのバックを務めた当日のメンバーの紹介をしておきます。

D s. ビリー・ハート、P. マイケル・ハー、B. レイ・ドラムンド

MGRの話によれば、来年も来福の予定があるので是非会いたいと言っていました。ただ、心配なのは、TTが高齢であるのと、右耳(ピアノ側)が相当悪そうなのが、公演後少し気になった。

どのタイプのハーモニカプレーヤーでも、一度は経験しておきたい演奏であった。

(写真はp18に掲載)

これがアレンジだ!!

入江章次

音楽の世界でも、一度やったら止められないものが多々あるが、その最たるものが指揮者かも知れない。あの名指揮者トスカニーニは、オーケストラでチェロを弾いていたが、ある日指揮者が急病になり、だれかが代役を務めなければならなくなった。そこで白羽の矢がたったのが、トスカニーニだった。彼は目が不自由で、楽譜を暗譜していたので、彼にやらせようということになった。ところが、その指揮が大変に受けて、とうとう指揮が止められなくなり、大指揮者になってしまった。

本来は、本当にオーケストラのことがよく分って、その要になっているのは、ヴィオラで、ヴィオラを3日やったら止められないと言われている。皇太子殿下もお弾きになられている、今や高貴な楽器になった。私が高校時代、オーケストラで弾いていた頃は、そんなに高貴な楽器だった訳では無かったのだが、はい!

アレンジも一度やったらやめられない。私は学生時代にいたハーモニカ・バンドで先輩が苦労して譜面をかき集めていたのを見て、私の時代になったとき、全部自分でアレンジと指揮をして演奏会を行った。セミ・クラから映画音楽、当時最先端のヒット曲まで、なんでも自由に演奏出来る。アレンジなんて、演奏してみて、聴いてもらって、結果が良ければ全てよいわけだ。自分達の演奏能力と相談しながら、やってみてどんどん直していけばいいのだ。こんなに面白いアレンジを、大先生方におめおめと任せておく手は無い。美味しい汁を全部大先生方に吸って頂いているのだ。

またまた会報で、偏曲、変曲、……と色んなことを言われているが、こんなことでおじけづいてはなりません。これからは、自分でアレンジして演奏する時代です。今迄は大先生のアレンジで間に合ったかも知れませんが、今は、呼んで下さる御客様から「この曲をこんな風に演奏してくれ」と、お声が掛かる時代です。自分の音楽性で、自分のやりたいようにやらなければ、「なーんだ、ハーモニカは何時も同じ様な曲ばかりで、誰が吹いてもみんな同じじゃないか」と思われる。折角ハーモニカの良さを知らしめるチャンス到来という時に、おじけづいてる暇はありません。

複音ハーモニカは編曲し様がない等と書かれていたかも知れないが、複音ハーモニカだからこそ編曲があるのです。単音ハーモニカは星の数ほどある中から好きな曲をそのまま吹けば良いのです。複音ハーモニカは、そんな曲をどのようにアレンジして吹くか。ほら! どうです? 曲想が浮かんでくるでしょう、あなたの吹く、柔らかい音が、そう複音ハーモニカの! 恋人を包み込んでしまうような、なんという美しい幻想的な音でしょう、目頭までが熱くなってきましたね。それがアレンジです。その内に貴方も、自分のアレンジを誰かに吹いていただく時がやって来るでしょう。その時はハーモニカ吹きを暖かい目で見守ってあげましょう。

貴方も今日からはアレンジャー。そう、自信をもって、胸を張って闊歩していこうではありませんか。“これがアレンジだ”と言って。愈々ハーモニカ界も面白くなってきますよ。貴方が活躍するから。自信ついてきましたね、期待します。 Fine.

『ハーモニカは楽器の王子様』

私のアレンジメント

大石 喜一郎

最近の会報で編曲のことが取り上げられていました。私の場合の考え方（実践方法）を少し述べます。

世の中にハーモニカ用楽譜というものはいくつもありますが、ハーモニカ教室で使おうとすると、なかなか適当なものが見あたりません。また市販のMMO (Music Minus One)のCDを伴奏に使おうとすると、簡単すぎたり難しすぎたりで、これもびったりしたものは見つかりません。こんなことから自分で編曲することが、どうしても必要になります。

私の場合複音でもいわゆるベース奏法を用いないで独奏することを念頭において、またクロマチックでも使えるように考え、伴奏はMDやテープで行うスタイルで、次のように考えて編曲を実践しています。

1. コード進行は簡単にしています。
2. 伴奏部分やバスのパートにメロディー音を入れて、曲の進行のガイドにすると同時にメロディが途切れたときの違和感を減らしています。
3. 伴奏の音色はピアノ・ハープ・琴・ギター等の撥弦楽器やヴィブラフォン・マリンバ等のクロマチックパーカッションそれに弦楽部と管楽部で構成しています。
4. 原則的に2コーラスで構成し、最初はハーモニカがメロディを取りますが、第2コーラスのときハーモニカはヴァリエーションになります。
5. ヴァリエーションになったときに、初級ではメロディックに持って行ってメロディトレイスを容易にしています。このとき中級用ではかなり自由に遊べるように心がけています。
6. イントロとエンディングも初級用と中級用では大きく違ってきます。
7. 初級用は、歌の伴奏として使えるように心がけています。
8. 楽譜は、全体の進行が分かるように全部のパートが入っているフルスコアで出しています。またハーモニカ以外の人とも合奏できるよう、五線譜で出しています。
9. また練習の時に音のイメージをつかみ易くする目的で、メロディ入りとメロディ抜き(MMO)のテープを添付しています。MMOは伴奏に使えます。
10. 楽譜書きも音づくりもすべてコンピュータ仕事です。楽譜書きのソフトはアメリカ生まれの Music Time Deluxe を使っています。音づくりには、日本製のシンガー ソング ライター ライトとXG works を使っています。(お願い ; Singer Song Writer 4.0 に詳しい方、使い方を教えて下さい。)

ハーモニカ研修会 レジュメ
(複音ハーモニカの調整と修理)

講師 入江章次

1 ハーモニカの取り扱い方

- 1) ハーモニカを可愛がってやれば、よく鳴るようになる？
- 2) 食後すぐハーモニカを吹いても良いか？
- 3) ハーモニカは吹きっぱなしで良いか？
- 4) ハーモニカは衛生的か？

2 メインテナンス

- 1) 1曲吹いた後はハーモニカの吹き口を拭く。口元も拭く。(なぜか)
- 2) お稽古等が終わったあと、水分の切り方と注意点
- 3) ハーモニカは何処に、どう置いておけば良いか
- 4) 吹き口に唾の固まりが付いたら、歯ブラシで洗いながす。(歯ブラシは特殊加工して使う)
- 4) それでも汚れが取れない時は5ミリぐらい水につけておく。その洗い方と、あとの処理の仕方
- 5) 丸洗いするときの注意事項

3 新品のハーモニカの手入れ

- 1) アルコールできれいに拭く。(特に注意すること)
- 2) カバーを外してプレートを綺麗に仕上げる。(その方法と注意点、これをしないと唇が切れやすい)
- 3) カバーの止め螺子は、出来るだけ丈夫なものに取り替える。(何がよいか)
- 4) ハーモニカの角等手触りの悪いところは、再仕上げする。(仕上げの方法)

4 調整の必要なとき

- 1) ピッチが狂ったとき。(ピッチはどう狂っていくのか、原因は、どう調律するのか、調律の表の話と裏の話、ノウハウは)
- 2) トレモロが狂ったとき。(早く確実に調律するノウハウは)

5 修理の必要なとき

- 1) リードが疲労したとき。(どんな状態になったときか)
- 2) リードが折れたとき(リードはなぜ折れるのか、パーツの買い方裏の話)
- 3) その他ピッチがふらつく、音色が悪い、鳴りが悪い(その原因と対策)

6 改造は出来るか。(自分の欲しいハーモニカをどうやって作るか、何が作れるか)

7 クロマチックスケール・ハーモニカについて(複音配列、1穴2音式)

- 1) 出来ればスライド機構の摩り合せを行ない、スプリングを弱くする
- 2) マウスピースはどこを改良するのか
- 3) スライドレバーが滑らないときどうすればよいか
- 4) 吹き終わったら穴を密閉状態にしない(理由と方法)

クロマチックハーモニカ メンテナンスと修理 レジューメ

(98/11/21及び12/5実施)

吉村 則次

日常のメンテナンス

- 保管のしかた 湿気を閉じ込めないように、普通はハダカで。
ハンカチで包む。ビニール袋に入れない。
- 全体のクリーニング ウエット・ティッシュ、消毒用エタノール、コットン
- マウスピース キッチン用洗剤で洗浄、細い丸ブラシであか落とし
- スライド スライドのあか落とし、ルーブリケーションになにがいいか。
- ショック・アブソーバー 浮きゴムを使う。ときどき替える
- 分解と組み立て カバーのはずしかたと取り付け方法
マウスピースのはずしかたと取り付け方法
リードプレートのはずしかたと取り付け方法

修理と調整

- 必要な道具 ねじ回し各種(ネジのサイズに合ったものを)、
ピンセット、細かいヤスリ、接着剤、チューナー
リードリフター、小型グラインダー
- スライド リードを取り替えるにはさらに特殊工具と修理部品が必要
バリの除去、サンダー
かちゃかちゃ音を完全に消すにはどうする。曲がったら?
ボタンがはずれたら?
- スプリング 取り外しと取り付け、ラジオペンチで、飛ばさないように
力の調整、スプリングが折れたら
- バルブ(ウインド・セーバー) 戻ったら取り替え
- 本体 割れることがある(64の場合右端、木製の場合上と下のさかいの木)
- リード 鳴りにくいリードの原因は?
ゲージでリードをスロットの真ん中に。反り(オフセット)の調整
音がくるったリードはどうして分かる?正しいドレミを知る。
ユニゾンで演奏する。カラオケと演奏する。オクターブで演奏する。
リードの削り方、ヤスリ、カッターナイフ、ロータリー・グラインダー
削って直る場合と、もう取り替えなければならない場合の限界。

リードの取り替え

- 必要な道具 リードを取り外す特殊な道具が必要。2万円くらい必要(アメリカもの)
トンボの修理工具 No.6044 20000円
- 取り替え方法 ネジを使う方法、リベットを使う方法

空気漏れはどこで起こるか

- 64の場合、270の場合
取り付けの注意
特に、270の場合は、本体とマウスピースの間に隙間ができていないかチェックする必要あり。
木部が膨らんでいないか。
64の場合、リードプレートと木部の間にほこりが紛れ込んでいないか。

木製ボディのリードプレート

- の取り外しと復旧
つらを合わせる。出来ればクギをやめて、ネジとナットに交換する。



ネジとナットで取り付けられたリード
(左から1番目、3番目)



リードを外す器具(アメリカ製)

一度やったらやめられないアンサンブル

吉村 則次

寄せ集めのビッグバンド

98/10/25の関西ハーモニカ祭りで、私と木谷悦子さんは、NHK・ソフィア・ツルミ・ハーモニカ・ビッグバンドというアンサンブルを結成し、ステージに上げました。

クロマチック・ハーモニカ4部にコードとピアノを加えた6部編成、27名でした。

当初は、人数でもビッグ・バンドという名前にふさわしい約70人のバンドになる予定でしたが、それぞれ都合があったりして、結局ステージに上がったメンバーの数は27名となりました。

けれども、ビッグバンド時代（昭和20-30年代？）の音楽を、ビッグバンドらしい編曲でやりましたので、サウンドだけは、ビッグバンドのサウンドになったのではないかと、自分だけ思っております。

クロマチックばかりのビッグアンサンブル（東京でも大阪でも、この種のもは今までなかった）であったこと、若い女性が多かったこと（27名中17名が女性）、曲目がビッグ・バンド・サウンドであったこと、により、好評で多くのかたの注目を浴びたようです。

このバンドは、司会者から紹介のとおり、一つのまとまった教室から生まれたアンサンブルではなく、徳永延生、木谷悦子、吉村則次の3つの教室の生徒が主体になってできたものです。

木谷悦子さんと私吉村則次が両方とも徳永延生氏の生徒ですから、これは大きな意味で徳永延生の教室のアンサンブルと言えます。木谷悦子と吉村則次の生徒は、いずれも6カ月のコースを終了したばかりです。

一つの教室でみんな同じ練習をしてステージに立った訳ではなく、各教室でそれぞれ共通の楽譜で練習し、2回（うち1回は、例の台風7号の影響で交通遮断が多く、半分も参加できなかった）の合同練習を経てステージに立ったわけです。

徳永延生教室は、全部個人レッスンの教室ですから、みんな会う機会はなく、これだけは、たった1回のサマー・セミナー（9/13~15奈良県下北山村）で2時間練習し、あとは1回の合同練習に参加したものです。

「アンサンブルは楽しい」、これは一度アンサンブルをやった人なら必ず感じることでしょう。多くのハーモニカ教室ではアンサンブルを教材にしてレッスンをしています。というより、アンサンブルを利用している教室の方が、そうでない教室より多いことでしょう。

今日は、なぜアンサンブルは楽しいか、なぜアンサンブルはそれぞれ個々の技能の上達に役立つかを、私の関西ハーモニカポップスにおける約10年の経験をも含めて、考えて見たいと思います。

生徒にとっての効果

協調の喜びを感じることができる。

他のパートとの関係において（自分が伴奏パートの場合には）他の人を助けているという感じ、（自分がメロディパートの場合には）他の人から助けられているという感じ、充実感を持つ。

隣の人が自分と異なる音を出して、それが自分の音と一緒にあってきれいな新しい音（和音）になっているのを感じるのは、すばらしいことである。

生徒同志の関係が強化する。通常は指導者と自分の関係だが、アンサンブルをすることにより、自分のパートだけに集中すればいいというものではないこと、他のパートの音を聞きながら自分の演奏をしなければならないことを知る。

自分より上手な人と一緒に演奏することにより、その人から自然に教えられる。自分だけで練習するより、上達が早いということを知る。

パートを分けることにより、（自分のパートが単純な旋律であっても）全体としては、より美しい音（ハーモニー）が作れることを知る。

正しいリズム（タイミング）と音程を習得する。

ソロの場合は間違っても下手であっても自分だけの問題であるが、アンサンブルの場合は間違えると全体に迷惑をかけるので、緊張感が生まれ、より真剣に演奏するようになる。

技能的に、ソロではまだステージに立てない段階でも、アンサンブルでは十分通用（全体のものに貢献できること）することを知る。

自分の習得した力を、他の人及び観客に示す。

講習を受けたこと（の成果）を、「ステージに立つ」ということにより記念する。

同じことを習っている他のグループの人と知り合う。（上述のとおり、このメンバーは同じ教室の生徒ではないので、合同練習とステージのときのみ他のグループの人と一緒になった。）

指導者から見た目的と効果

合奏の楽しみを感じさせることにより、生徒をハーモニカに、より深入りさせる。脱落者の足止め策にもなる。

将来、もっと多くの、小さい、または大きい自主的アンサンブルを結成させる糸口とすることができる。

アンサンブルのメンバーを、コンサートの観客として動員を図る。アンサンブル出場者は同時にそのコンサートの観客ともなるわけです。30名というとハーモニカ祭りの観客総数の1割に近い数になり、注目される数字である。メンバーが家族や友人を連れて来ることもある。

より上位の個人レッスンへの勧誘。他のすばらしい演奏者と一緒になることにより、特に勧誘しなくても、より高いレッスンを受けたいという希望が生まれる。

レッスンを楽しくさせる。ユニゾンでやるより楽しい。生徒が楽しければ当然講師も楽しい。また生徒が積極的になってくれるのでレッスンが自然に進み、その意味では指導者にとっても一面楽なものでもある。

その他の効果、ハーモニカ拡大発展への効果

聴衆にたいして、クロマチック・ハーモニカというものの良さを知らせる。(世間にはクロマチック・ハーモニカというものが存在することすら知らない人が多い。ハーモニカというのとあの(複音)ハーモニカだと思っているのが普通である。)

若い人もハーモニカを習っていることを、他のハーモニカ愛好者あるいは観客に示し、ハーモニカは楽しいということを伝える。

(複音では若い人は非常に少ないが、ご覧になったように、このクロマチック・アンサンブルには20歳代の女性が半数以上含まれていた)。

クロマチックを習っている人が(今まで表には出て来なかったが)このように多いことを他の人に示す。

クロマチック・ハーモニカの教室の宣伝になる。NHK大阪文化センターの講座(木谷悦子)は、月曜日夜と金曜日夜、6カ月毎に開講されているから、だれでも空きがあれば習うことができる。

また徳永延生ハーモニカ教室は、個人レッスンであるから、いつでも開始できる。

我々の演奏を聞いて、聴衆の中でクロマチックも習いたいという気持ちを持った人がいたとすると、非常にありがたいことである。

アンサンブルの成立要件

アンサンブルには、次の要素が必要で、どれが欠けてもうまく行かない。

◎意欲的な愛好者

まず、当然のことながら「やりたい」というメンバーが必要である。また、それらの人は決められた時間の決められた場所での練習に参加できる環境になければならない。

またメンバーは楽譜(我々の場合は五線紙であるが)が読めなくてはならない。ある程度の音楽の基礎的演奏能力が必要である。

(十分な数のコード奏者とバス奏者も必要。通常は、各アンサンブル共これらの数が少ないために、PA装置で音を大きくしてバランスをとっていますが、本来はその数を増やしてPAなしで音の大きさのバランスとれるようにすべきと思う。コード及びバスの楽器の値段が、ソロ楽器に比べはるかに高いということも問題である。)

メンバーは、技術の問題よりも「約束を守る」ということがよりさらに重要である。すなわち、全メンバーは決められた時刻に集まり、決められたパートを努力して練習し、他の人に思いを馳せて演奏するということが必要。小さいアンサンブルでは、一人だけでも欠けると全体が不可能になる。要すれば、時刻を守ることを含め「人に迷惑をかけない」という精神ということであろう。約束を守らないメンバーが一人いるために、分解してしまう小アンサンブルが、よくある。

◎意欲的な指導者

合奏の指導に能力のある人が必要。またその人は意欲的でないとうまく進まない。指導者がやる気がないと、メンバーもついて来ない。

レベルに従った選曲と組分け、指導方法等の面でも、いい指導者が非常に重要です。

◎適切な楽譜

いろいろなレベルの合奏用楽譜（デュオ、トリオからビッグバンドまで）が必要で、対象の曲は、演奏するのも聞くのも楽しいもので、いろいろなジャンルにわたっていなければならない。

指導者が編曲を書く能力があれば最高であるが、そうでない場合は合奏譜を買う。クロマチックバンドの場合は、幸いハーモニカ用の編曲なくてもいい場合がある。（リコーダー用、金管五重奏用、弦楽合奏用、児童用合奏曲等）

ハーモニカバンド用の楽譜は、比較的単純なものは国内でも見られるが、非常に少ない。本格的なこの種の楽譜は、かつての合奏王国アメリカで相当量発行されている。ただし、数字譜によるアンサンブル楽譜は、外国物では全くないから、五線譜を読めることが必要である。

◎練習場所

適当な大きさのものが、希望する日時に使用することができなくてはならない。それは、メンバーが来るのに便利な場所になければならない。

現実には、この練習場所が一番問題で、30～40名が入る練習場所を、決まった日時に確保することは容易なことではない。

今回の西日本ハーモニカコンテストでは、いくつかの兄弟のトリオが出場したが、非常に羨ましいことである。時間と場所の問題がすでに解決している訳ですから。

◎世話役

大きなアンサンブルとなると、練習場所の確保、メンバーへの各種連絡、金銭の徴収、それに演奏会等への出場の場合は主催者等との交渉等を行う人が必要になってくる。アンサンブルが大きくなると、指導者がこれを兼ねるのはむずかしく、指導者と世話役の分離が望ましい。さらに大きくなると会計係、連絡係、渉外係等も設ける必要がある。この世話役が意欲的でなかったり、気が働かない人であったりすると、アンサンブルはうまく進まない。

◎演奏の機会

練習するだけで発表する機会がないと、みんな意欲を失ってくる（目標を失う）。指導者や世話役は、なるべく多くの演奏する機会を作ったり見つけて来ることが必要である。

幸い関西では関西ハーモニカ祭り、佐秀会のコンサート、「みんなのハーモニカコンサート」、それに2年毎のコンテスト等、発表の機会に恵まれている。評判になって来ると、これ以外にも演奏のお声がかかることもある。

さて、それでは、この「NHK・ソフィア・ツルミ・ビッグバンド」の将来は？と考えると、全く分かりません。2回（ハーモニカ祭りと11/23の徳永延生教室発表会）だけで消滅するのでしょうか。

99年のハーモニカ祭りには、名前とメンバーは変わっているかも知れませんが、またクロマチック各教室が集まって臨時に結成してステージに立ちたいと思います。

このバンドと共に、このバンドから発生した多くの大小のアンサンブル・グループが出演するようなことになると思います。2000年の第3回西日本コンテストでは、上位をさらって行くかも知れませんか(???)。

練習の方法

◎パート分けについて

アンサンブルには、通常、リード（メロディ）パートと伴奏パートに分かれる（均等にいろいろなパートがメロディを受け持つ編曲もときにはあるが）。だれでも常に伴奏パートをやらされては不満が出る。だから、どのパートも均等にメロディを受け持つ機会があるようにパート分けをやる必要がある。我々のグループは全員が同じクロマチックという楽器なので、4オクターブの16穴クロマチックを持てば、高音、中音、低音いずれのパートを受け持ってもなんら問題がない。

バスとコードは小人数なので、健康やその他の都合で出られなくなった場合を考えて、いつでも交替できるようなダブル・キャスト状態にしておくことが望ましい。

◎自然に能力が向上するように、上手な人と初心者と同じパートに入れて組み合わせるべきと考えられる。初心者だからといって、特に準備された易しいパートに固定しては刺激がない。

◎パート練習

模範演奏（ハーモニカ以外で演奏されたものでもよい）を聞かせたあと、パート毎に分かれて、場所を離してパート練習をさせる。参考にする模範演奏は、キーが同じでカラオケのように一緒に演奏できるものが望ましい。

◎合同練習（全部のパートの）

それぞれのグループから各2名ぐらいを選び、交替で演奏させ、他のものは聞くだけにしようとするのも一つの方法。自分が吹いていると、自分の楽器の音だけが聞こえるし、それに手一杯で、人のを聞く余裕はない。その曲の美しさがわからない。

16小節または32小節毎にメンバーをチェンジして演奏させてゆく（切れ目なしに）のも効果的。のんびんだらりと聞くだけでなく、緊張して聴くこととなる。

そのあと強弱、ニュアンス、緩急をつけて行く。

◎立って練習

ステージでは必ず立って演奏するので、ときには練習も立ってやるようにする。

◎指揮をさせる

オーケストラの指揮をすることは、人間の大きな欲望である。これを満足させるために、メンバーに交替で指揮をさせる。自分が棒を振ることにより、みんながついて来る喜びを感じるのみならず、リズムの練習にもなるし、各パートの音を聞く練習になり、指揮者の気持ちが解り、自分が指導者となったときに必要な正しい指揮の方法がわかる。



99年の関西ハーモニカ祭りは
10月24日曜日
大津文化会館



DOUVILLE ドーヴィル

と
あり
いう
ところ
で、
ハ
ー
モ
ニ
カ
世
界
大
会
が
あ
り
ま
す。
一
〇
月
七
日
(木)
か
ら
一
〇
日
(日)
ま
で。

パリから車か列車で約2時間。海を見たいノと思ったらまずこのドーヴィルに出かけたい。白い砂浜、きらめく海、美しいノルマンディ様式の建物。ノルマンディの海辺の街のなかでもとびきりエレガントで、とびきり垢抜けた街がドーヴィルだ。



アクセス

【鉄道】パリのサン・ラザール駅から、ドーヴィル・トゥルヴィル駅下車。所要約2時間～2時間30分。直通は1日7本程度。あるいはカーン行、シェルブール行でリジュール下車、各駅に乗り換え約30分。

観光案内所 ☎02-31-14-40-00

映画『男と女』の舞台になった高級避暑地

ドーヴィルはノルマンディで最も美しい海岸のひとつとして知られる。クロード・ルルーシュ監督の映画『男と女』の舞台となり、世界的に有名になった。映画では、荒涼とした冬の砂浜と、孤独な男女の姿が叙情的に描かれ、ドーヴィルを魅力的な大人の街として印象づけた。実際の街は、確かに冬のメランコリックな表情も素敵だが、夏の華やかな高級リゾート地として、とくに人気が高い。

ドーヴィルは、1860年にナポレオン3世の異母兄弟のドゥ・モルニー公爵によって、保養地として開かれた。当初は競馬場が造られ、1912年にはカジノ、高級ホテルのノルマンディ、ロワイヤルが次々と建造。1920年代には、海水浴が流行し、海岸には歩遊道が造られた。パリのブルジョワ階級の人々は、こぞって海辺に別荘を建て、街は急速に活気を帯びていった。



オフシーズンの静かなビーチ

現在、海岸沿いをはじめ、街のいたるところに、当時のノルマンディ様式の、木の梁と柱を組み合わせた館が建ち並び、独特の建築美がある。中心はメインストリートのウジェーヌ・コラ通りからカジノ周辺と海岸一帯で、全部歩いてまわれる距離にある。ウジェーヌ・コラ通りのなかほどに観光案内所があるので、ホテル・リストや街の地図を手に入れておきたい。その少し先には、白とベーパーミント・グリーンでストライプで覆われた木の梁のホテル、ノルマンディがあり、街のシンボリック的存在になっている。散歩の途中に、ティールームでお茶を優雅に楽しむのもいい。もちろん、宿泊できればさらに楽しい思い出がくれるだろう。ホテルの横には、白亜の建物のカジノが堂々と構えている。正面入口は海岸通り沿いにある。スロットマシンからルーレットまで、本格的なギャンブルが堪能でき、週末にパリから駆けつけるマニアも多い。また、カジノの裏手のカジノ通り一帯は、一流ブランド・ショップやブティックが集まるショッピング・エリアになっている。買物フリークには必見のスポットだ。

繁華街を抜けて海岸へ

カジノの建物の正面あたりから、まっすぐ海に向かって行くと、サラサラとした砂浜に出る。ブルーグレーの海は、光をはねて玉虫色に輝いている。手前には、木造の遊歩道が、海と平行して左右に約650mほど延びる。夏のヴァカンス・シーズンにはカラフルなパラソルが立ち、大勢の海水浴客で賑わう。北にはドーヴィル港、東にヨットハーバーがある。

ドーヴィルの列車の玄関口、ドーヴィル・トゥルヴィル駅は、東のはずれにある。駅舎もノルマンディ様式の建物で、かわいらしい造りだ。ドーヴィルと海を隔てて向かい側にあるトゥルヴィルは、ドーヴィルより先に開けた街。作家のフロベールやアレクサンドル・デュマらのお気に入りのビーチだった。ドーヴィルが混んでいる場合には、このトゥルヴィルに滞在してもいいだろう。

また、ドーヴィルでは、年間いくつかのイベントがある。4月にはクラシック音楽祭、7月初旬にはカジノで、ジャズ・フェスティバル、9月初旬は有名なアメリカ映画祭、10月はクラシックカーのラリーだ。

SPAH(アメリカ ハーモニカ協会?) の大会に参加して

大石 喜一郎

今夏 8/25~29 アメリカのデトロイトで開催されたSPAH(The Society for the preservation and advancement of the Harmonica)の第35周年大会に参加してきました。

今年アメリカの友人の娘さんが結婚するというので、春からアメリカに行く計画をしていたところ、たまたま同じ時期にSPAHの大会があることを知ったので、どんな事をするのか、野次馬根性で覗いてきました。あちこち観光した後デトロイトに着いたのが8/27の早朝で、翌日の午後には次の目的地(ミシガン州)に向かうという、慌ただしい日程でした。大会情報はFIH JAPANのHarmonica Reviewを読んで知ってはいましたが、何の準備もしないで、とにかく行ってみました。

空港へ迎えに来たホリデイインのバスに乗ったところがどうも様子がおかしい。運転手の話ではハーモニカ大会などやっていないというので少々不安を感じたが、まず行ってみることにしました。ホテルについて確かめると大会をやっているのは、数あるホリデイインのなかでもかなり格式の高い別のホテルで空港の隣りにあることがわかりました。再びバスで送ってもらって目的のホテル着いたけれども、空港周辺だけでもチェーンホテルが数カ所あるという状況に驚かされました。ホテルは空港に隣接していたけれども、ダウンタウンからは隔絶された田圃の中の一軒家といった風情で、バスも電車も公共的な交通手段は何も無く、車のない人間には身動きのとれないところでした。

会場に入って早速SPAHへの入会手続きをしました。そのときカウンターで声をかけてきたのはニューヨーク在住のチャーリーでした。とても面倒見の良い人で、日本のハーモニカ友達の話やSPAHへの入会手続きの手伝いからSPAHのメンバーへの紹介それに会場の案内まで、不慣れな私を大いに助けてくれました。(ちなみにホテルの部屋代は\$119でありこれでチェックインしていたが、会員になったというので会員料金(\$69)にするようホテルの支配人に交渉してくれました。おかげでSPAHの初年度会費等が賄えました。また会場で見渡したところこの大会への日本からの参加者は、私一人のようでした。)

大会の次第は前掲の雑誌に掲載されているので省略するとして、ホテル内では随所で即席グループの演奏があり、私もクロマチック

1本を持ってあちこちのグループに入って、深夜まで一緒に楽しみました。プログラムの中で、Play along(一緒に演奏しよう)はステージにプロのプレーヤーが出て来てリードし、これに客席の皆が合わせるスタイルの楽しい企画であり、また自由参加(open mic)は、申し込みがすぐに満杯になる盛況でした。Open micでの演奏スタイルは、クロマチックが主役となったトリオが多く見かけられましたが、チェロやヴァイオリン等の弦楽を含んだ合奏もありました。会場内では会員の奥様方?によるCDやSPA Hみやげの販売や、会員の自作の特別仕様のハーモニカや著書・楽譜それに各種の使用済み(中古)ハーモニカの即売等もありました。副会長の話ではSPA Hのメンバー数は現在約1,000人ほどで、この大会への参加者は400人程度とのことでした。夜行われたセミナーは演奏会と抱き合わせではありましたが、参加者200名余の盛会だったし、演奏会では小学生くらいの少女が、大人のバックで堂々と演奏し喝采を浴びていました。参加者は総じて定年後の人が大半であるだけに、こうした若い人の出現には大きな関心と期待があるように感じられました。

昨年訪問したドイツのトロシゲンでは、コンテスト出場が目的であったので会場の雰囲気を楽しむゆとりもなかったけれども、この大会はお祭り気分の中で沢山の友人もできたし、非常に開放的であったので楽しい思い出になりました。

ただ残念なことは、帰国する段階でノースウェスト航空のストライキに遭遇してしまったので、日程や乗り継ぎ便の変更を余儀なくされ、ようやく関空へ着いたのは予定より2日遅れの9月6日(日)になったばかりの午前0:26となってしまいました。当然最終電車も出てしまった後であり、やむなく空港のロビーで夜明かしして始発電車を待つ羽目になってしまったわけでした。この日は関西ハーモニカ連盟のコンテストの当日であり、私自身も出場を登録してあったし、会場運営の役割分担もあったのに、時差ボケと寝不足とで全てを放棄してしまい、他の役員諸氏に多大なご迷惑をかけることになってしまいました。不可抗力の事態でありまた現地からFaxで状況を伝えてあったとはいえ、関係の皆様へは改めてこの誌上で深くお詫び申し上げる次第であります。

今後のSPA H大会は、セントルイスとデンバーが予定されています。どちらも大都会であり、楽しさいっぱいの大会になるものと

予想されます。機会があればまた参加したいものだと思います。

余談ながら、日本のハーモニカプレイヤーについて誰を知っているかとSPAの会場で訊いてみたところ、即座にM氏とY氏の名前が出てきました。M氏は当連盟の特別顧問であり、著書もCDも出版されている大先生です。私も昨年トロシゲンで親しくして頂いたところではありますが、彼の複音演奏技術はアメリカで驚嘆を持って聴かれ、大いに尊敬されているようでありました。またY氏は人も知る国際派であるので知名度が高いのは当然とも思いましたが、これからの日本ハーモニカ界を代表するにふさわしい、世界に通用する人物であることを、再確認してきた次第です。



ピート・ピーダスンを囲んで
私と娘



会場のホテルの前で
左から、チャーリー・チョン、娘
ノーム・ドブソン、小生



ロビーでギターに合わせ自由演奏



大阪府大東市で
クロマチック・ハーモニカ教室開講

編集局

大阪府大東市のハーモニカ愛好者の主催により、同市でクロマチック・ハーモニカ教室が誕生しました。概要次のとおり。

主催者 大東ハーモニカバンド講座育成準備委員会（電話 0720 72-3761）
（株）貴光/林氏

講師 吉村 則次氏

場所 大東市新町13-30 大東市立公民館 サーティホール3階 視聴覚教室

開催日時 98年12月11日（金曜日）から99年3月26日（金）まで4カ月間
毎月第2・4金曜日午後7時から9時までの2時間

使用楽器 12穴、14穴、16穴スライド式クロマチックハーモニカ
持っていないかたには、特別斡旋あり

受講料 月額 3000円 テキスト代を含む

その他の自己負担費用 楽器、卓上用譜面立て（以上持っていないかたのみ）

受講申し込み及び問い合わせ 上記主催者に電話ください。

開始日の12月11日には、「この素晴らしいハーモニカの世界！！」と題して講師による説明を兼ねた話とデモ・コンサートが行われました。

受講者募集のため、求人広告誌「ザ・ワーク」に掲載され、98/11/12・13に大東市、四條畷市、鶴見区、東大阪市（以上学研都市・近鉄版）、門真市、守口市、寝屋川市（以上京阪版）に新聞折り込みで配布された。

配布された広告文



★受講生募集★

初級クロマチックハーモニカ教室開講！！

（使用楽器）12穴または16穴スライド式クロマチックハーモニカ
お持ちでない方には特別価格でご提供（12穴のものは税込10,000円）

講師に全日本ハーモニカ連盟公認指導員・関西ハーモニカ連盟副理事長吉村則次氏を迎え
素晴らしいハーモニカの世界を体験しませんか？

（募集人数）25名 ※原則として高校生以上の一般男女・初心者可・障害者（車イス）可
（講師）吉村 則次氏（全日本ハーモニカ連盟公認指導員・関西ハーモニカ連盟副理事長）
（受講料）月3,000円※入会金なし
（テキスト及び楽譜）毎回プリントを準備。五線の楽譜を使用する。（注：数字譜は使用しない。）
（場所）大東市新町13-30 大東市立公民館 サーティホール3階 視聴覚教室（予定）※片住通駅5分
（期間）平成10年12月11日（金）～平成11年3月26日（金）の4ヶ月間
月2回 第2・4金曜日 P.M.7:00～P.M.9:00までの2時間

この素晴らしいハーモニカの世界！！
全日本ハーモニカ連盟理事 公認指導員
関西ハーモニカ連盟副理事長 吉村則次氏
吉村 則次氏
（日時）
平成10年12月11日（金）
P.M.7:00～P.M.9:00
（場所）
大東市立公民館 視聴覚教室
定員：50名

主催 大阪大東市障害者射撃連盟

お問合せ・申し込み

大東ハーモニカバンド講座 育成準備委員会

☎0720(72)3761(株)貴光/林迄



定期演奏会 実施報告

'98/11 関西ハーモニカポップス合

奏団

関西ハーモニカポップス合奏団は、11/7(土)第 23 回定期演奏会を開催しました。今回も大阪市からの「舞台活動助成金」を頂いて、好評のうちに円滑に定演を終えましたので、次の通り報告いたします。

会場の予約に行ったのは今年始めであったにも拘わらず第 2 土曜日がとれず、やむなく第 1 土曜日になってしまったので来場者数が減るのではないかと心配していましたが、実際には開場の半時間以上前から多数のハーモニカファンにおいでいただいて、開演の時には 370 の席が満席ちかくなる状況でした。演奏の途中では補助席を出すという盛況ぶりに、皆様のハーモニカに対する愛慕の気持ちと当合奏団への熱いご支援にあらためて感激致しました。

今回の定演は「地中海クルージング」と銘打って、異国情緒たっぷりのトルコからギリシャを経てロマンと文化の香り高い南欧の国々を巡ってエジプトに至り再び中近東諸国に辿り着くという順序で、各地に縁のある曲を集めました。実際に旅行をすれば 1 ヶ月以上を要する伝説と風光の地を、ゆかりの音楽を聴きながら 3 時間で 1 周する贅沢な船旅の企画でした。またピアノをフィーチャーしたコンティネンタルタンゴの名曲があり、ウィーンの救世の名将軍を称える「ラデツキー行進曲」では会場の皆様の手拍子を頂いて全員一体の演奏を楽しみ、そして故人となられた吉田 正さんを追悼する望郷歌「異国の丘」を挟んで、海に縁のある「アロハ オエ」を演奏しながら、定演を締めくくりました。ハーモニカ合奏だけでこれだけ長時間になると聞く方も疲れるものですが、タンバリンのリズムが熱帯のけだるさを奏でマンドリンが地中海の涼風を感じさせるなどの聞きどころがあり、さらにウクレレが情緒たっぷりに南の島の雰囲気盛り上げるなどの編曲でご好評を頂きました。曲の由来を的確に伝える簡潔な解説と温かくて新鮮さを失わない嶋津さんのアナウンスに支えられて、地中海の幻想にひたったひとときであったと思います。PAはいつものように吉村氏にお願いしましたが、会場の技術者とぴったり息の合った音響調整で、会場一杯にハーモニカの音が響いていました。

今回の定演には東京からのご来場者やご関係の皆様からの祝電等、たくさんのご祝福を頂きました。誌上を借りて御礼申し上げます。

当合奏団も'69/6 の『関西ハーモニカ アンサンブル』の結成から 30 年を経ました。第 1 回の定演記録では出演者の数も 10 名となっています。永

い年月の間には合奏団にもハーモニカご愛好の皆様にも大きな変化があったと思いますが、ハーモニカへの情熱は増しこそすれ決して減るものではないと確信しています。これからも変わらぬご支援をお願いして報告を終わります。(文責大石)

第2回アジア太平洋ハーモニカ大会 コンテスト 日本人の入賞者

前号では、各部門の1位から3位までを発表しましたが、その他の入賞者のリストが入りましたので、日本からの出場者についてのみお知らせします。

複音 少年組
1位 中村直緒

複音 成人組
2位 水野隆元
優秀賞 柳川優子、岩部道央子
宮本一男(当連盟会員)、井上初美

テンホール
3位 森沢郁夫

デュエット
優秀賞 柳川優子/井上初美

トリオ
3位 青葉トリオ

重奏
1位 アザレアQ

堺市立金岡公民館

クロマチックハーモニカ教室(自主グループ)開講

吉村 則次

「ハーモニカをやりたい」という有志のかたの主催で、全くの初心者(まだクロマチック・ハーモニカというものを持ったことがない人)向けのクロマチック・ハーモニカ教室が次のとおり開講されます。

公民館で行われますが、これは公民館の主催行事ではなく、公民館の部屋を借りて行う自主グループですから、市民でなくても参加することができます。

興味のあるかたは下記の代表者または講師にお電話ください。

主催者代表 小林 泰子氏 電話及びFAX 0722 86-9165

講師 吉村 則次(当連盟副理事長、全日本ハーモニカ連盟公認指導員)

開始日 98年12月1日(火曜日)から、原則月2回 第1・3火曜日の予定
午後7時から9時までの2時間

この会報が発行される時点までにすでに2回実施しましたが、人数に余裕があれば途中入会できます。

場所 堺市金岡町1089-1 堺市立金岡公民館 電話 0722 57-6890
地下鉄御堂筋線新金岡または中百舌鳥、南海中百舌鳥、白鷺から歩15分

使用楽器 12穴、14穴、16穴スライド式クロマチックハーモニカ
持っていないかたには斡旋あり

人数 部屋の大きさの関係から最大20名となります。先着順
すでに発起人グループが募集して、スタートしております。

会費 月あたり2000円の予定

その他 テキストはありません。毎回コピーしたものを使います。楽譜立ては準備されて
おりませんので、各自卓上式楽譜立てを持って来る必要があります。

申し込み 上記主催者代表へ(電話及びFAX 0722 86-9165)

講習内容等詳細の問い合わせは講師(吉村則次、電話及びFAX 0722 51-9398)へ

大阪厚生年金会館大ホールで演奏しました。

大阪市住吉区老人福祉センターハーモニカ教室代表 水野 昭三

平成10年9月4日（金）、恒例の大阪市老人クラブ連合会主催の『高齢者福祉大会』が大阪厚生年金会館大ホールで行われました。午後のアトラクションに、住吉区周辺の区を代表して、我がハーモニカ教室が、館長さんから出演の依頼を受け、演奏しました。

メンバーは、32名中、病気などの理由で欠席した者を除き21名。最低年齢65歳、最高年齢89歳、平均年齢73歳の面々です。

曲目は「ふるさと」「荒城の月変奏曲」「月の砂漠」の3曲です。

当日の演奏で、各演奏曲の前奏部分が終わると同時に、超満員の客席から大合唱が会場いっぱい響きわたり、予想外に盛り上がりました。その上、最後に「ブラボー」の声と、満場の喝采を博し、無事に代表の責任を果たすことができ、お互いに喜びと感動をかみしめました。

以下、出演者の一言です。

「こんな大ホールで演奏でき、生涯忘れられません。」「客席からの大合唱に感動しました。」「会場の盛り上がりが心に残っています。」「最近、会員になったのに、大ホールで演奏でき、夢のようです。」「こんな最高の日はありません。」「最高の指揮ぶりでした。」「みなさんに助けられ、励まされて出演できたことを感謝しています。」などなど。



98/9/4『高齢者福祉大会』大阪厚生年金会館大ホール
大阪市住吉区老人福祉センターハーモニカ教室

チェン・バー・ファンとラリー・アドラー が中国演奏ツアー

アメリカで発行されている「ハーモニカ・エデュケーター（ハーモニカ指導者）」誌の最新号によると、チェン・バー・ファンとラリー・アドラーは、近く中国ツアーを行うとのこと。中国で4カ所から8カ所で演奏会を開く予定。チェン・バー・ファンはオール・バッハプログラム、ラリー・アドラーはオールガーシュインプログラムとのこと。なお、あの84歳のラリー・アドラーは、今まで中国で演奏したことがなく、今回が最初とのこと。中国ではチェン・バー・ファンはよく知られているが、ラリー・アドラーは無名とのこと。

会員異動のお知らせ

98/11/12 現在

前号でのお知らせ以降、次の通り入・退会の連絡がありました。

組織部長

新入会

○ 小林 由美子	662-0046	西宮市千歳町 7-42	0798-22-1844	('98/9)
木下 加奈美	602-0046	京都市上上京区上立売通新町 西入西大路町 65-3	075-451-4433	('98/10)
古田 豊江	662-0026	西宮市獅子ケ口町 1-35	0798-71-0965	('99/1)
横山 加奈子	650-0002	神戸市中央区北野町 1-5-1 メゾン北野 405	078-241-2636	('99/1)
流郷 龍美	572-0030	寝屋川市池田本町 4-53	0720-39-0646	('99/1)

退会

石塚 博章	'98/4死亡	('98/4)
森近 正明		('99/1)

この結果 会員数は212名となりました。

新しい C D 等

吉村 則次

- ◎SANDY WELTMAN/New World Harmonica Jazz, USA Wildstone Audio 演奏者本人から購入
アメリカのクロマチック・ジャズ奏者
- ◎MUULORGELER VOM ZURISEE スイスのチューリッヒ湖のハーモニカカルテットです。
スイスのワルツやポルカなどのダンス曲を演奏しています。
次の2枚、演奏者本人から購入
Mundharmonika Gala 及び Die 8
販売用に入荷しました。いずれも1枚3000円(すべて込み)
- ◎RICHARD HUNTER/The Second Act of Free Being, USA Turtle Hill Prod. THP05CD
リチャード・ハンターの2枚目のCDである。前作の完全な無伴奏ソロとは異なり、今回はギター伴奏及びヴォール入りのものもある。販売用に彼の第1作のものも購入した。1枚3000円(すべて込み)

ご 報 告

前号の会報に掲載されましたとおり、私達、京都ハーモニカクワルテットの恩師である小林忠夫氏が、去る8月16日他界されました(享年68歳)

幼少より、長年に亙りハーモニカのご指導をして下さった小林先生は、恩師であると同時に、メンバーにとっては父親のような存在でした。その悲報は、あまりにも大きすぎる衝撃で、言葉が見当たらず、只々残念で、今でも信じられないというのが正直な気持ちです。

厳しさの中にも、子供のような笑顔と愛情で、いつも私達に温かく接して頂いた先生との色々な思い出が頭から離れません。

これからも小林先生から教わった数々の事を肝に銘じ、ハーモニカ音楽の楽しさ、素晴らしさを可能な限り一人でも多くの方に伝えて行こうと思っております。

小林先生のご冥福を心からお祈りするとともに、謹んでご報告致します。

京都ハーモニカクワルテット

伊丹市立サンシティホール
クロマチック・ハーモニカ教室 開講

吉村 則次

前号でお知らせした、伊丹市立サンシティホールのクロマチック・ハーモニカの教室は98/9/1に市の広報で募集され、申し込み数30名を抽選のうえ20名に絞り、98/10/3から開講されました。

受講者の年齢は、最低22歳最高82歳で、平均年齢は54歳、年齢別構成は次のとおりです。なお男女比率は男6女14の構成です。

20歳代	2	30歳代	1	40歳代	3	50歳代	7
60歳代	5	70歳代	1	80歳代	1		

「ソフィア・クロマチックの会」発足

吉村 則次

堺市立教育文化センター中文化会館（通称ソフィア堺）のクロマチック・ハーモニカ教室（講師、吉村則次、期間6カ月）の修了生が中心となって、自主グループ、仮称「ソフィア・クロマチックの会」を発足させました。

概要は次のとおりです。少し不便なところですが、クロマチックの基本ができるかた、一度見学がてらにお出でになりませんか？ 一緒に向上を目指し、グループでアンサンブルを楽しみませんか。自主グループですから、堺市以外のかたも結構です。

代表者 安井 亘（わたる） 電話 0722 99-0698

指導者 吉村 則次 電話及びFAX 0722 51-9398

練習日 原則毎月第1・第3金曜日 午後7時から9時まで 開始日は11月6日（金）
この会報発行時まで、すでに3回の練習を行いました。

場 所 堺市教育文化センター、4階リハーサル室
泉北高速深井駅歩10分 興味のあるかたは上記代表者又は講師にお電話ください。場所の詳細ご案内します。

目 的 個々人のクロマチックハーモニカ演奏技能を更に向上させるとともに、演奏グループとして、デュオ、トリオ、カルテット、アンサンブルも練習する。

来年の当連盟のハーモニカ祭りに出演します。ご期待ください。

ピッチが変えられるMD

吉村 則次

ピッチが変えられるMDが、市中で売られていることがわかりました。

ソニーのMDS-22ES(表示価格89,000円), JB920(69,000円), W1(89,000円)の3機種で、1音(ドをレに)ぐらい変更できるようです。

録音された伴奏でハーモニカを吹く場合に、キーを半音あるいは1音変えたいとき、またはA=440と443の差が気になるとき、等に便利なようです。

なお、ピッチが変えられるCDは、会報133号(97/10月)p29でお知らせしたように、デンオンのDCD-1515AL(66,000円)があります。

某市の市立公民館
クロマチックハーモニカ教室開講

編 集 局

京阪神間の某市の市立公民館の主催で、次のとおりクロマチックハーモニカ教室が開講されます。

公的機関主催のため、関係部署の決裁を得て3月1日にその市の公報で発表し、募集開始するまでは公表してもらっては困るとのことですので、名を伏せなければなりません。公的機関がこのようなハーモニカ教室を開いてくれることは、非常にうれしいことですので、とりあえず主催者の市の名前を伏せてお知らせします。

なお、3月1日公表直後にはその市に在住の当連盟会員には詳細お知らせしたいと思いますので、興味がありましたら募集要項に従ってお申し込みください。

主催者 京阪神間の某市の市立公民館

講師 吉村則次氏(当連盟副理事長)

期 間 99年4月9日(金)から9月24日まで、月2回 第2・4金曜日

午後7時から9時までの2時間 合計12回 延べ24時間

募集対象及び人数 20名。申し込み者多数の場合抽選。

募集日 99年3月1日付のその市の公報による。

使用楽器 12穴、14穴、16穴スライド式クロマチックハーモニカ

受講料 無料 ただし、楽器及び卓上用譜面立ては各自負担

テキスト及び楽譜 無料。毎回プリントによる五線紙の楽譜を使用する。

教室開催日 第2・4金曜日 午後7時から9時まで

4月9, 23 5月14, 28 6月11, 25

7月9, 23 8月13, 27 9月10, 24

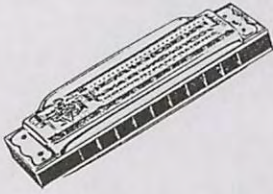
なお、これに先立ち、同公民館主催により2月16日(火)及び同23日(火)に2日間延べ4時間にわたり「この素晴らしいハーモニカの世界」と題して同氏の演奏と講演が行われる。

大阪シテイアカデミー
ハーモニカ教室

クロマチック・ハーモニカ
講師 木谷悦子 第2・4月曜 グループ及び個人レッスン
グループ1カ月 6000円、個人同 7000円 入会金 3000円

楽しいハーモニカ
講師 入江章次 第2・4木曜
1カ月3500円 入会金 3000円

大阪シテイアカデミー
564-0027 吹田市朝日町1-401 JR吹田駅前
電話 06 382-7243



H		R		O		I		A
	A		M		N		C	

関西ハ一モ二力連盟